

令和5（2023）年度 事業報告

とよなか国際交流センター

I. 事業報告 総論

1. はじめに

2022年4月に「新型コロナウイルス感染症」（以下、「新型コロナ」という。）拡大防止のための出入国制限は解除されました。2023年5月、新型コロナは感染症法上の位置付けが2類から5類に変わり、社会全般で様々な行動制限が解除されました*1。それ以降、国境を越えた人の動きは活発化し、とよなか国際交流センター（以下、「センター」という。）への来館者も増え、にぎやかさを取り戻しています。秋にはセンターと公益財団法人とよなか国際交流協会（以下、「協会」という。）が設立30周年を迎え、記念イベントやセミナー、シンポジウムを開催し、多くの人が集まりました。コロナ禍にはなかった活気、熱気と共に節目の年を過ごすことができました。

センターの活気、熱気背景には、豊中市で暮らす外国人*2が増加し、多文化共生に対する市民の関心が高まっていることがあります。この1年で豊中市の外国人住民の数は約5%増え、7,200人を超えました。仕事で来日する人、呼び寄せられる家族、日本に学びに来る人など、来日の理由、目的は様々ですが、豊中で生活する人は増え続けています。実際に事業所、介護施設、学校など、至る所で外国人の受入れが進んでいます。日本社会全体を見渡しても、少子高齢化による人口減少は止まる気配がなく、特に労働生産人口の減少が顕著であり、政府は育成就労制度の導入など外国人労働者の受入れ拡大の積極的なスタンスを示していることから、今後も地域で暮らす外国人は増えていくことが予想されます。

一方で、外国人が同じ地域で暮らす住民として、しっかりと受け入れられてきたかという点、決して十分だとは言えません。豊中市でもコロナ禍により、外国人の生活基盤の脆弱性や外国人に対する偏見や差別、排除の意識などが顕在化しました。そのような状況の中、「自分は外国人だから真っ先に解雇されるだろう」「外国人だから仕事の希望は言えない」「自分が外国人だということが分からないように過ごしていた」といった声を聞くことが少なくありませんでした。コロナ禍が落ち着き、そういった声は減り、外国人の雇用や交流を希望する声が増えました。日常が戻るにつれ、再び問題は見えにくくなりつつありますが、生活基盤の脆弱性や偏見や差別、排除の意識などの問題が根本的に解決されたわけではありません。

また、政府は、育成就労制度等、外国人労働者受入れ施策を推進し、さらに共生社会を実現することを目標として掲げていますが、それと並行して永住許可の取消制度の導入を検討しています。人生設計への影響もさることながら、「永住者」であっても、必ずしもずっと日本に安定して居られるわけではないというメッセージのインパクトは強く、制度面でも生活基盤はより心許ないものになりつつあります。

現実として、日本社会の中には外国人を受け入れようとする力と管理・排除しようとする力の両方が存在します。だからこそ、すでに地域で暮らしている人たちと交流や相互理解を深め、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、これからやってくる人たちを同じ住民として、どう受け入れていくかについて考え、実践することが必要であり、地域社会、日本社会の未来にもつながる、とても重要な課題です。

ロシアによるウクライナ侵攻も、イスラエルによるガザへの侵攻も依然として解決の道筋が見えません。多くの市民の安心や安全が脅かされ、生活が破壊され、命が奪われるといった状況に対し、国際社会の一員としてどう関わるか、一市民としてどう関わるか、問われ続けています。

こういった状況の中、豊中市では10年ぶりに豊中市多文化共生指針を改訂しました。基本理念「国籍やルーツにかかわらず、さまざまな文化的背景を持ったすべての人が、人権尊重を基調に、お互いを理解し合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に暮らす多文化共生のまちの実現」はその必要性、重要性を増しており、協会でも同指針に準拠して事業展開を進めていきます。

協会は「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。1993年の設立以来、センターを拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「ばづくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。これまでの蓄積を活かしていくことが、まさに今、求められています。引き続き、様々な関係機関・団体、市役所と連携・協力してセンターを活かしながら、地域の多文化共生をしっかりと推進していきます。

*1 … 2023年度は、センターの第四期〔2021～2025年〕指定管理者期間の3年目でした。

*2 … 国などの統計では「外国人」とは外国籍の人を指しますが、協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人々も含めて「外国人」としています。

2. 事業について ～5つの観点から～

(1) 観点1：外国人に対する支援体制の拡充 ～相談機能の強化・充実～

地域で暮らす外国人が支援や交流の場につながるように、多言語での情報発信に努めました。Facebookやウェブサイトによる多言語（11言語）での情報発信に加え、Instagramでも情報発信を始めました。様々な情報をタイムリーに届けること、情報から取り残される人がいないように取り組んでいます。

多言語相談サービス事業について、2020年から豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」による多文化共生総合相談ワンストップセンターを受託していることを受け、協会でも2020年から対応曜日を増やして体制の充実化を図っています。今年度は韓国・朝鮮語やネパール語スタッフの対応曜日を増やし、さらに、研修に加えて定期的に面談を始めるなど、組織レベル及び個人レベルで対応力の強化に努めました。また、多機関連携会議（事務局：豊中市福祉部地域共生課）への参加・協力を通して、横のつながりによる課題解決力の強化も進めました。

勝手に離婚され、本人も子どもも大きく人生を狂わされるという相談が頻発したことを受け、2014年度に始めた「リコン・アラート（協議離婚問題研究会。事務局は協会）」では9月に対面及びオンラインでシンポジウムを行いました。また、2月には大阪弁護士会と離婚に関する一日電話相談会を実施しました。

他にも、個々の相談対応に加え、多言語スタッフを中心にコミュニティづくりや日頃の相談内容をふまえた外国人向け講座・イベントを企画・実施し、外国人の課題解決及び孤立を防ぐ取組を精力的に進めました。

(2) 観点2：センター等の拠点機能の強化 ～外国人の居場所・交流・相互学習の充実～

現在の日本社会の大きな課題として子ども・若者の課題があります。ニートやひきこもり、ヤングケアラーなどの課題は、外国にルーツを持ち日本で暮らす子ども・若者も例外ではありません。そのうえ、海外から日本への移動に伴う困難さも加わります。

協会では子ども母語、学習支援サンプレイス、若者支援事業を実施し、安心できる居場所でピア（同じような状況の仲間）やロールモデルと出会い、つながること、そのことで元々持っていた力を取り戻していくこと（＝エンパワメント）を大切にしてきました。若者のたまりばでは、若者の状況やニーズに合わせ、事業の開催回数を増やし、さらに実施内容も地域のお祭りや参加者の学校の文化祭への参加など工夫を加えました。ほかにも元サッカー日本代表選手を呼んで実施したサッカー交流会を通じ、これまで協会とのつながりが弱かった外国人も巻き込んで、コミュニティづくりを進めるなどしました。次年度も引き続き、居場所や出会いの機会の提供に努め、次世代育成を通じた持続可能な共生社会づくりに取り組みます。

子育て中の外国人ママを対象とした「おやこでいほんご」は市内3図書館（岡町、庄内、千里）で実施していますが、通常の活動に加え、市内のNPO法人と連携したイベント（就労相談会）などを実施しました。また、より多くの外国人ママとつながるために、事業の在り方を考える会議を重ねました。

主に成人対象の日本語交流活動はセンターに加え、庄内コラボセンター、千里文化センター、さらにオンラインでも実施しています。今年度は新規ボランティア養成講座に加え、豊能地区の識字・日本語関係者の視察受入・意見交換、他教室の訪問などを行いました。また、日本語交流活動には多くの市民が参加していますが、安全・安心の場づくりについて考える研修を行いました。日本語の学びに加え、セーフティネットとなるつながりができる、さらに市民の生涯学習の場という面も有しています。今後も、安定的な運営と活動の充実に取り組みます。

(3) 観点3：関係機関・団体との連携や協力 ～ネットワークによる厚みと広がり～

センター登録グループ（19団体）と共に実行委員会形式で国際交流フェスタを開催しました。成果発表、料理、遊び&文化体験コーナー、バザーに加え、実行委員会主催の全体企画（ファッションショー及びダンス）を行い、会場は大いに盛り上がりました。

多文化まなびあいネットでは、先進事例（岡山県総社市）の話から防災について学び、実際に消防署との協働企画（外国人向けセミナー）の実施につなげました。また、地域でも防災訓練が再開されましたが、

多言語スタッフとともに参加しました。そこでの学びや気づきは地域にフィードバックしました。

地域福祉ネットワーク会議、地域共生推進プロジェクト実行委員会、地域福祉活動計画推進委員会（いずれも事務局は豊中市社会福祉協議会）への参加などを通じ、福祉分野との連携も進めました。

このほか、府内の国際交流協会と行政担当とのネットワーク「国際交流協会ネットワークおおさか」では研修会のほか、弁護士による外国人のための一日相談サービス（協力：大阪弁護士会）を実施しました。

府内で外国にルーツを持つ子ども・若者の支援に携わっている団体とのネットワーク「子どもの夢応援ネットワーク」では、大阪府や文部科学省と意見交換を行い、さらに文部科学省の担当官を招いたセミナーを実施するなど、多様な機関・団体との協働や連携を進めました。

さらに、大阪府外国人施策有識者会議への委員参加など、協会の経験、ネットワークを他機関・団体の取組でも活かすことができました。

（４）観点４：地域に広げる多文化共生のまちづくり ～地域での学び・交流・支え合い～

多文化共生のまちづくりをより多くの人を巻き込んだものとするため、広く市民が多文化共生、国際交流に触れる機会を作りました。前述のとおり、とよなか国際交流フェスタでは、多くの市民がセンターを訪れました。

また、国流シネマカフェを複数回開催し、映画を入口として多文化共生のまちづくりに関心を持ってもらいました。今年で４回目となったとよなかシネコンではマチカネポイントを導入し、これまで以上に様々な人の参加を促進し、多文化共生、人権、環境、市民活動、社会教育など、分野横断的に社会課題について学ぶ機会を多機関連携でつくりました。

国際理解について、例年学校や行政、市民団体などに講師派遣を行っていますが、2023年度は国際理解のためのプログラムを庄内地域（世界の『ミカタ』～親子で楽しむ国際交流@庄内公民館）で行ったほか、庄内コラボセンター1階のカフェコーナーで「世界につながる国流カフェ」を実施しました。

このように多くの市民に国際交流、多文化共生に触れ、学ぶ機会・きっかけを提供し、多文化共生のまちづくりのすそ野を広げています。

（５）観点５：とよなか国際交流センターの有効活用による多文化共生を推進する循環

センターが国際交流・多文化共生の拠点としての役割を果たすため、豊中市とも協議を行いながら、安全・安心に利用してもらえるよう努めてきました。市民の声に応え、2023年7月からセンターのオープンスペースである「CCスペース」の貸室利用を始めましたが、センターの利用者はCCスペース等を含めて年間48,077人（昨年比24,199人増）でした。国際交流目的での使用が全貸室件数のうち、89.8%を占めていることから、目的公共施設としての役割を十分に果たしていることが分かります。

また、全体の利用者のうち、外国人利用者は20,229人で全体の約42%を占めます。豊中市の外国人の人口割合（国籍では約1.7%）と併せて考えると、外国人が積極的に利用し、国際交流、多文化共生の拠点としてしっかり機能していることが分かります。

さらに、2023年度はセンター・協会の設立30周年を記念し、コウケンテツさんの講演会、ファッションショー、連続セミナー、シンポジウムなどを開催し、これまであまり多文化共生に関わりがなかった人からすでに深く関わっている人まで、それぞれが参加し、発見や気づき、学びが得られるよう間口の広いラインナップで周年事業を進めました。

これまで、協会では、センターを中心に相談・支援機能の強化、居場所・交流機能の強化を図り、それを積極的に地域とつなげたり、広げたりしてきました。そして、地域とのつながりの中でもらった声や課題を相談・支援や居場所・交流などセンターに戻し、深めてきました。協会では、センターの立地条件、施設としての有用性を生かし、地域や多様な機関・団体との間で人や情報、資源が流通し合うようなつながりを作ることで、「多文化共生のまちづくりを深める循環」を作ってきました。

これからも、豊中市で暮らす外国人の増加が見込まれる中、センターの役割はますます大事なものになっていくことが予想されます。今後も豊中市とも連携・協力して「チーム豊中」の一員として、協会がこれまで約30年に渡り、豊中市で培ってきたノウハウや資源、地域や人とのつながりを最大限に有効活用し、より多くの機関・団体や人、情報、資源を多文化共生のまちづくりを深める循環に巻き込むことで、多文化共生のまちづくりを発展させていきたいと思えます。

Ⅱ. 事業概要

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

1. 国際交流に関する情報の収集及び情報提供事業

・情報サービス事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
市民主体の国際交流活動推進事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】協会やセンターからのお知らせの発行（日本語及び多言語）、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト・Facebook やLINE、InstagramなどのSNS等を利用した情報発信を行った。

【対象】国際交流に関心を持つ市民

【主な実績】協会及びセンターのウェブサイト運営（新型コロナに関する特設ページ含む）。多言語ニューズレターは2021年度より「とよなかしからのお知らせ」として毎月発行、ウェブサイトでの情報提供（日本語及び多言語）、Facebook やLINEに加え、Instagramでの情報発信（2023年12月より開始）での多言語情報の発信、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書・民族衣装・教材の貸出等。

2. 国際交流への住民の参加促進事業

(1) 市民活動協働事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
市民主体の国際交流活動推進事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】市民団体の活動支援のため、センター登録グループとの情報交換を行ったほか、昨年引き続き、国際交流フェスタを開催した。また、関心のある市民及び団体に対して随時相談に対応したほか、団体の運営に対して必要に応じてサポートを行った。さらに、福祉、男女共同参画、環境、市民活動、国際交流の分野に取り組む5団体で中間支援組織間の連携を図った。そのほか、しょうないREK実行委員会や国際交流ネットワークおおさかへの参加など地域の他団体・広域の関連団体との協働を進め、国際の視点に立った取組を行った。豊中市の都市間連携の動きに合わせ、隣接する4中核市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）担当部署、国際交流協会間で情報交換を実施している。

【対象】国際交流に関心を持つ市民及び団体

【主な実績】市民共同デスクへの参加、しょうないREK実行委員会への参加、4中核市での情報交換会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応

(2) 留学生ホストファミリー事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】今年度は大阪大学と JASSO（日本学生支援機構大阪日本語教育センター）の留学生とホームビジットの形で活動を行なうことができた。新規ボランティア登録説明会を開催したり、協会イベントのお手伝いを行ったりした。

【対象】国際交流に関心を持つ市民

【主な実績】ボランティア登録 計 69 家族

(3) にほんご活動事業

【趣旨】外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

【内容】日本人や外国人の参加者のニーズに合わせた多様な日本語交流活動（希望する外国人と研修を受けたボランティア／子育て中のボランティアによる）を行った（センターで週 5 回、庄内公民館・千里文化センター・岡町図書館・庄内図書館 [※現在は隔週]・千里図書館のそれぞれで各週 1 回）。今年の 5 月 8 日に、新型コロナの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ 5 類に移行したため、日本語交流活動は通年対面での開催ができた。

【対象】日本語交流活動への参加を希望する日本人及び外国人

【主な実績】[1] にほんご活動 実施回数のべ 301 回、参加者のべ 8,422 人（うち外国人 4,348 人）

[2] おやこでにほんご 実施回数のべ 94 回、参加者のべ 947 人（うち外国人 338 人）

3. 国際理解推進事業

(1) 多文化共生推進事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
おとな国際事業

【趣旨】多文化共生のまちづくりを実現するために、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

【内容】世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催。また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

【対象】多文化共生の取組に関心のある日本人・外国人

【主な実績】「世界を食べよう」2 回。参加者のべ 20 人（うち外国人 1 人）。「世界を食べよう」のレシピ本の頒布（有料頒布数 181 冊）、FM 放送でのレシピ紹介（8 回、うち出演 2 回）。多文化・多言語セミナー 7 回開催（含共催）、参加者のべ 341 人。「世界の『ミカタ』～みんなで楽しむ国際交流～」1 回、参加者 15 人（うち外国人 5 人）。国流シネマカフェ 3 回、参加者のべ 155 人（うち外国人 9 人）、協会及びセンター設立 30 周年記念事業 6 回、のべ 418 人（うち外国人 110 人）等。

(2) ボランティア研修事業

【趣旨】 国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

【内容】 [1] コロナ禍以来、初めて対面で日本語ボランティア養成講座を実施した。また、新規ボランティア及び現役ボランティアのためのフォローアップ研修とボランティア研修会（ハラスメント研修）をそれぞれ1回実施した。多文化子育て支援ボランティア養成講座は、2019年度以来の対面開催となった。また、現役ボランティアも含めたボランティア向けフォローアップ研修も1回実施した。
[2] ハラスメント研修を実施し、学習者、利用者、ボランティア、スタッフ等…協会の事業に関わる人たちみんなが安心して活動し、交流する場をつくるために、「多様性」、「インクルージョン（包摂）」そして「マイクロアグレッション」をキーワードに、事例から学び、何ができるか共に考える場を提供した。

【対象】 国際交流活動ボランティア、関心のある市民

【主な実績】 [1] 「庄内にほんごボランティア養成講座」：1回、参加者のべ17人、「日本語ボランティア養成講座」：3回、参加者のべ127人、「日本語ボランティアフォローアップ研修」：1回、参加者のべ25人、ボランティア養成講座」：3回、参加者のべ70人、「多文化子育て支援ボランティア フォローアップ研修」：1回、参加者14人
[2] ハラスメント研修（ボランティア研修として実施）：1回、参加者27人

(3) おまつり地球一周クラブ

【趣旨】 次世代の担い手である子どもたちが日本や世界の様々な文化を体験して学ぶことのできるような異文化理解・国際理解の機会を提供する。

【内容】 地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動「おまつり地球一周クラブ」を5回実施した。

【対象】 小・中学生とその保護者

【主な実績】 「おまつり地球一周クラブ」5回実施、参加者のべ103人。

(4) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

【趣旨】 韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びなどについて学び、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設ける。

【内容】 「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」の活動を実施し、民族講師から民族の文化や遊びについて学べる機会を提供した。また、普段は異なる学校に通う子どもたちが月に一度センターに集まり出会いつながらる機会にもなった。

【対象】 韓国・朝鮮につながりのある小学生、中学生

【主な実績】 「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」10回実施（※ミーティング含む）、参加者のべ240人（うち外国人161人）。小学生のハギハッキョ、小学生・中学生のハギハッキョキャンプを実施。

4. 在住外国人に対する支援事業

(1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
子どもサポート事業

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】保護者が参加する日本語学習と同時間帯に「多文化子ども保育 “にこにこ”」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会性を身に付ける機会を提供した。

【対象】外国にルーツを持つ就学前の子どもとその保護者

【主な実績】「多文化子ども保育 “にこにこ”」のべ74回実施、ボランティアのべ166人、子どもの参加のべ180人（うち外国人180人）

(2) 子ども母語教室

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションが取れるように支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども（小学生以上高校生以下）

【主な実績】子ども母語教室（中国語、スペイン語）2教室合わせてのべ23回実施、ボランティアのべ117人、子どもの参加者のべ128人（うち外国人128人）。

(3) 学習支援・サンプレイス

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】外国にルーツを持つ小学生、中学生、高校生への日本語・学習支援を通じた居場所づくり「サンプレイス」を行った。2023年度は対面で継続して活動を行い、子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応した。また、子どもたちやボランティアのつながりを深めるために、秋・春に年2回の遠足やハロウィンなどの季節的な行事、多文化フェスティバルのブース出店の企画事業を行ったほか、子どもの相談にも随時対応した。さらに、外国にルーツを持つ子どもの居場所づくりに必要な視点やスキルを学ぶための研修を実施した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども（小学生以上高校生以下）

【主な実績】サンプレイス のべ35回実施、参加者のべ389人（うち外国人269人）。行事の開催4回、子どもの参加者45人（うち外国人45人）。ボランティア研修3回、ボランティアの参加者のべ25人（うち外国人13人）。

(4) 若者支援

【趣旨】 義務教育課程を過ぎた外国人の若者の居場所づくりを通して、必要な支援（相談、自己表現や体験活動、学習に対する支援等）を実施する。

【内容】 外国にルーツを持つ「若者世代」を対象に、安心して集い、悩みや課題を相談できる居場所づくり及び生活支援を行った。2023年度は月一回の活動に加えて、地域のお祭りに参加したり、参加者の学校で行われた文化祭に出向いたりなど、不定期での開催も試みた。また、参加者の主体的な参画を促す工夫として、参加者と一緒に次回の活動内容を決めるなどをした。

【対象】 外国にルーツを持つ若者（16歳以上39歳以下）

【主な実績】 [1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

- ・外国にルーツを持つ若者「たまりば」年23回、参加者のべ146人（うち外国人103人）
- ・イベント、行事の開催年1回、参加者のべ7人（うち外国人5人）

[2] 高校進学のための同行支援2回 参加者のべ8人

(5) 防災事業

【趣旨】 大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体と共に構築し、災害時も踏まえた安心・安全なまちづくりのための体制づくりならびにその啓発を行う。

【内容】 2023年度も引き続き、新型コロナや台風等に関する情報提供を行った（※2023年5月8日に新型コロナが第5類感染症に移行したことを受け、災害時多言語支援センターは閉鎖）。また、外国人市民を対象に「外国人のための防災セミナー」や豊中市消防局の協力による消防セミナーを開催したほか、神崎川流域合同防災訓練、庄内校区自主防災会の避難所開設訓練に参加するなどした。

【対象】 職員、外国人

【主な実績】 災害時多言語支援センターによる情報発信（2023年5月8日まで）、外国人のための防災セミナー（1回実施）、参加者36人（うち外国人29人）、外国人のための消防セミナー@豊中市北消防署（1回実施）、参加者25人（うち外国人24人）

(6) コミュニティ活動

【趣旨】 地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

【内容】 高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」を開催した。2023年度はセミナー、課外活動のほか、協会及びセンターの設立30周年記念事業である多文化ファッションショーのモデル出演とステージ発表を行った。

【対象】 外国人

【主な実績】 Filipino Young at Heart's Club 7回実施、参加者のべ64人（うち外国人63人）

5. 在住外国人に対する相談事業

・相談サービス

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業
おとなサポート事業

【趣旨】 在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自文化を発表する機会の創出を行い、エンパワメントを図る。

【内容】 外国人のための一般生活相談及び外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。①多言語スタッフ、②コーディネーター、③相談員を配置して相談対応を行ったほか、通訳や翻訳作業も行った。2023 年度も外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題を受けて、「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」を他機関と協働して運営し、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組も継続して実施した。さらに、センター外での相談会開催や訪問支援などアウトリーチの取組の実施や多機関連携会議へ参加した。

【対象】 外国人及び必要とする市民

【主な実績】 [1] 相談件数 2,613 件
[2] 機関連携による専門的な相談対応
[3] リコン・アラート（協議離婚問題研究会）を通じた啓発活動、シンポジウム、一日離婚電話相談会の開催等。

6. 施設管理受託事業

(公益目的事業名) 施設管理受託事業及び収益事業

・とよなか国際交流センター貸室業務

【趣旨】 センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業（国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など）を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする市民や利益目的でない一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用料金に関する収入は全て豊中市に納付している。

【内容】 センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。さらに視察受入れや職員研修、大学からのインターンシップ生の受け入れ、「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験の受け入れを行った。

【対象】 市民及び施設利用者

【主な実績】 [1] 年間貸室利用者数 37,168 人（前年度比 26,788 人増）、うち外国人利用者数 16,091 人（前年度比 12,146 人増）
[2] 視察受入れ（計 18 件、合計 140 人（うち外国人 22 人）
インターンシップ生 2 大学より 2 人、計 120 時間
CUL（地域体験学習） 2 中学より 6 人
[3] Atoms 振り返り会参加者 42 人
[4] 職員研修（計 34 回）

自主事業

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 持続可能な地域づくり事業

- (1) メディア・リテラシー市民ゼミナール
- (2) 持続可能な開発のための教育 (ESD)・防災・地域貢献

【趣旨】 国際化や情報化が進む中、民主的な社会づくりに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

- 【内容】**
- [1] メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。
 - [2] 持続可能な開発のための教育 (ESD) 事業について、ESD とよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い、関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼少中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。
 - [3] マイクロアグレッション啓発パンフレットを作成するチームを運営。
 - [4] ネパール開発教育教材作成プロジェクトの立ち上げ。

【対象】 外国人及び市民

- 【主な実績】**
- [1] メディア・リテラシー講座の開催1回、参加者12人（うち外国人9人）
 - [2] ESD とよなか連絡会議への参加。講師派遣年間のべ43件、72人。
 - [3] マイクロアグレッション啓発パンフレット作成のための会議4回、のべ30人
 - [4] ネパール開発教育教材作成プロジェクト会議4回、のべ21人

2. 周縁化される外国人のための総合的な仕組みづくり事業

・多文化子どもエンパワメント事業

(1) 学習日本語「こんぱす」

【趣旨】 外国にルーツを持つ子どもたちが日本で教育を受け、生活していくために必要な日本語の力を身に付ける機会を設ける。

【内容】 学習のための日本語支援が必要な子どものための日本語教室で、日本語学習の支援を行った。また、子どもの日本語と学習面のつまずきや悩み、不安に関する学習相談日を設け、学校教員や保護者等からの相談対応を行った（運営の中心は「とよなかJSL」というグループ）。

【対象】 学習日本語「こんぱす」…外国にルーツを持つ子ども（小学生・中学生）

学習相談…学校の教職員、外国にルーツを持つ子どもとその保護者

【主な実績】 学習日本語「こんぱす」のべ89回実施、参加者のべ1,127人（うち外国人567人）、学習相談10件、参加者のべ55人（うち外国人25人）

(2) ネットワーク事業への参加

【趣旨】 主に大阪府内で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わっている機関、団体でネットワークを組み、一つの機関・団体では解決が難しい課題について意見や情報の交換、発信を行った。

【内容】 情報交換・意見交換のための会議の開催、研修会の開催。

【対象】外国にルーツを持つ子ども等、外国人の支援に携わっている機関・団体

【主な実績】子どもの夢応援ネットワーク会議への参加など

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 国際教育推進事業

【趣旨】豊中市で行ってきた様々な「国際」に関する取組を総合的につなげるシステムを作り出すために、教育資源を共有財産にする学び合い、調査・研究を実施する。

【内容】多文化フェスティバルを豊中市教育委員会協力のもと開催した。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会に構成団体として参加し、「多言語による進路ガイダンス」を開催した。

【対象】豊中市教育委員会及び豊中市立小中学校

【主な実績】「多文化フェスティバル」の開催（年1回、参加者148人、うち外国人69人）、「多言語による進路ガイダンス」の開催（年1回、参加者115人、うち生徒・保護者・通訳者計56人）

Ⅲ. 2023 年度事業実績詳細

Ⅰ. 国際交流に関する情報の収集および情報提供事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

◆ニューズレターの発行

日本語版と多言語版に分け発行した。日本語版は「こくりゅうだより」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携の一環として、毎月、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校イラスト部の高校生ボランティアに交互にお願いしている（発行部数：A3 サイズ [表裏]・フルカラー [168号～179号]、各月1,400部）。

多言語ニューズレターについては、2021年度より「とよなかしからのおしらせ」として言語ごとに紙面を発行している（発行部数：A4サイズ [表裏]・モノクロ、8言語で毎月計3,290部）。外国人が必要とする情報を多言語で分かりやすく提供するため、記事の選出や表現の仕方を工夫した。

◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の収集と提供を行っている。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語の新聞やチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。2023年度は配架ラックの配置替えを行い、チラシ等の配架物を閲覧しやすくした。

また、豊中市立図書館からは半年ごとに多言語での書籍（約100冊）の団体貸出を受けており、図書館とも連携して図書の充実を図っている（2013年1月より継続して実施）。

館内に設けている「地球市民ライブラリー」の蔵書については、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成を行い、市民が利用しやすい環境を整えた。2023年度は特に、書籍のジャンル別に配置を行い、色シール分類や分かりやすいジャンル記載プレートを導入することで、利用者の利便性を図った。日本語学習テキスト、人権・多文化共生等に関する書籍も購入した。市民から外国語図書の寄贈もいただき活用している。また、日本語学習のテキストや絵本等で重複して何冊もあるもの、新しく購入した書籍と同じもので版が古いもの等を、必要としている方に無料で提供できるようにセンター内の本棚に配置している。

昨年度に比べて、書籍、民族衣装や民族教材の貸出件数は大幅に増えた。

◆図書類（外国語図書（絵本）含む）

貸出		貸出件数 (件)	増冊数		件数 (件)
総数		151	総数		86
【内訳】	一般図書（絵本含む）	124	【内訳】	一般図書	42
	外国語図書（絵本含む）	27		日本語学習関係	5
	〈うち〉 英語	(14)		辞書類	0
	中国語	(7)		絵本（日本語）	6
	インドネシア語	(4)		資料	5
	ネパール語	(2)		外国語図書（絵本含む）	28
			学習教材	0	

◆定期刊行物

内 容	購入点数 (冊)	フリーペーパーなど (誌)
定期刊行物	日本語新聞	2
	雑誌・機関誌等	2
	外国語新聞	1
		0

◆民族衣装、民族楽器、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計 (件)
貸出 (件数)	14	7	7	28
購入・寄付受付 (件数)	14	2	8	24

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、個人が自由に情報交換できるようにしている (掲示期間有り)。2022 年度で空調設備の工事は終了し、コロナ禍も落ち着いたため、センター利用者が増え、ボードの利用件数は昨年度の 5 件から 23 件へと大きく増加した。

◆ウェブサイト

協会ウェブサイトでは、日本語を含む 11 言語の多言語ページのお知らせウインドウを使い、各言語で新しい情報を随時提供した。

主催事業の新着情報等も随時更新し、常に最新情報を届けるようにした。今年度は、センターおしらせ掲載 (協会ウェブサイトの年間訪問者数 27,988 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 6,158 件)。

◆SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

Facebook, LINE を利用し、日々の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などを継続して行った。Facebook ページでは 2023 年度も引き続き多言語ページ (英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語の 9 言語) を活用し、毎月発行される外国人向け市政情報「とよなかしからのおしらせ」多言語版、生活支援情報や外国人向けのイベントやセミナー情報、防災に役立つ情報などを言語別に発信した。公式 LINE アカウント (日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語) においても同様の内容の情報発信を行った。今年度からは、とよなか国際交流センターおしらせ「こくりゅうだより」の定期配信と「こくりゅうだより」に掲載されているコラムの配信も開始した。災害時の情報としては、大雨予報の際の注意喚起 (6 月) や熱中症についての注意喚起 (7 月) のほか、台風 7 号の情報 (8 月 13 日)、能登半島地震情報 (1 月 1 日) など迅速な配信を行った。

また、SNS はその種類により利用者の世代や利用目的が異なる。広く情報提供を行うためには、多様な媒体での発信が欠かせないと考え、2023 年 12 月より新たに Instagram を開設している。写真を多用した情報発信を行い、事業の様子が多くの市民に伝わるように取り組んでいる。

【協会の Facebook ページのフォロワー数、「いいね！」数】

日本語ページ フォロワー数 2,264 人 (前年度比 213 人増)、「いいね！」数 1,909 人 (前年度比 120 増)。

※ 2024 年 3 月末現在

【協会公式 LINE アカウントの登録者数】

日本語アカウント 183 人 ※ 2024 年 3 月末現在 (前年比 70 人増)

【協会 Instagram フォロワー数】

86 人 ※ 2024 年 3 月末現在

◆ベトナム人向け 性に関する情報発信。

多言語相談サービスにおいて、ベトナム人女性から予期せぬ妊娠・出産に関する相談が相次いだことを受け、主に日本に暮らすベトナム人向けに性に関する情報（妊娠や避妊方法等について）の発信をnoteで開始した。

◆プレスリリースの発行：メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
10月22日	読売新聞	国際結婚カップル 離婚届に改善要望
12月19日	朝日新聞デジタル	「脅され」「無断で」離婚される外国籍の妻 背景にある制度の違い
1月23日	朝日新聞	外国籍の妻へ相次ぐ「無断離婚」

◆取材協力：メディア各社からの取材に随時協力。

II. 国際交流活動への住民の参加促進事業

(1) 市民活動協働事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業

市民主体の国際交流活動推進事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」について

とよなか国際交流センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。同フェスタはセンターで活動する登録グループの成果発表の機会ともした。

実施日	内容	場所	来場者実数(人)
12月2日(土) 10~15時	<ul style="list-style-type: none"> センターの登録グループによるステージ発表及びポスター発表(※発表で使用したパネルは引き続き、館内に掲示) 市民グループによるバザー 世界の料理や飲み物の販売 子どもの遊びコーナー(パルーンアート、世界の楽器体験、民族衣装体験、中国切り絵体験) 世界の民族衣装ファッションショーなど 	センター	379
合計			379

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会を作り、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中における市民活動のさらなる活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報交換・発信を続けている。

その後、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民活動情報サロンの受託団体が参加(市民活動ネットきずなの解散を経て2020年度からとよなかESDネットワークが参加)。豊中市スポーツ振興事業団の解散を経て現在の5団体となる。2020年度から壁新聞の発行がなくなり、各団体に共通する課題を設定して意見交換を行っている。今後も引き続き中間支援組織のゆるやかな情報共有ネットワークとして意見交換を継続する。

会議実施日	内容（場所）	場所
6月 8日	5団体による意見交換会	センター
9月 7日	5団体による意見交換会	センター
12月 7日	5団体による意見交換会	センター
2月 27日	5団体による意見交換会	センター

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するため、地域で活動する国際交流をテーマとした市民団体・グループの運営に対する支援を以下の通り行った。

日付	取組の内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「日本語支援グループ・むすびめ」「EPA Support Toyonaka」が実施する就労を目指す外国人のための日本語サポート事業、外国人介護福祉士候補者のための日本語支援を協働で実施した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知を図り、市民団体からの問合せに対して情報提供を行った。
情報交換	例年、とよなか国際交流センター登録グループと連絡会議、とよなか国際交流フェスタ実行委員会を行っている。2023年度は全体企画として、民族衣装ファッションショーを開催した。

◆しょうないREKへの参加

2005年、豊中市の市民公益活動推進条例による市民協働事業提案制度に基づき、市（事務局は庄内図書館）と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が実行委員会形式で立ち上げられた（しょうないREKはRecycle[リサイクル]、Event[イベント]、Kawaraban:[かわら版]の頭文字を合わせた造語）。協会としては、特に豊中市南部地域での関係機関・団体との連携を重点的に進めるため、実行委員会に参加し、イベントにも適宜協力を行っている。

当初、しょうないREKは市民協働事業提案制度によって実施される事業の実行委員会の名称であった。しかし、庄内コラボセンターが設立され、庄内図書館が同センター内に移転したことを機に、事業の実施形態が変更された。しょうないREKは2023年度から市民協働事業提案制度の提案団体の名称に変わり、引き続き、庄内コラボセンターにおいて市と協働で、リサイクル本の販売、イベントの実施、かわら版の発行、カフェスペース（庄内コラボセンター1階）の運営を行なっている。

特にカフェスペースでは、協会の取組を市南部地域で広めたり、庄内コラボセンターに入っている機関との交流のほか、若者事業の若者等の参加の機会としても活用した。

●しょうないREK実行委員会

開催回数及び開催日	場所
11回 〔開催日：4月25日、5月23日、6月23日、7月25日、9月5日、10月24日、11月21日、12月19日、1月23日、2月27日、3月26日〕	市民公益活動支援センター

●世界につながる国流カフェ

開催回数及び開催日	場所
10回 〔開催日：4月22日、5月2日、6月16日、7月20日、8月10日、9月28日、10月19日、11月16日、1月11日、2月29日〕	市民公益活動支援センター 1階 カフェスペース

◆国際交流協会ネットワークおおさか

大阪府内の国際交流協会及び自治体を中心となって、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生に広域的に取り組んでいる。2023年度は定例の会議で情報交換を行ったほか、研修会や相談会を実施した。

・会議

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	構成団体
4月 7日	11 (3)	大阪国際交流センター & オンライン	【構成団体】 大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター (アイハウス)、吹田市国際交流協会、とよなか国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会 【オブザーバー】 大阪府国際課、和泉市人権・男女参画室、池田市人権・文化国際課、堺市国際課、NPO タブマネ ※案件に応じて、大阪弁護士会も参加
5月 26日	14 (3)		
7月 7日	11 (3)		
8月 29日	12 (3)		
10月 27日	11 (3)		
12月 5日	11 (2)		
1月 25日	10 (3)		
3月 7日	11 (3)		
合 計	91 (23)		

・研修会、シンポジウム等

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
6月 9日	24 (13)	大阪国際交流センター	相談員研修 [初級編] (講師：山中京子さん)
6月 30日	22 (9)	大阪国際交流センター	相談員研修 [応用編] (講師：山中京子さん)
7月 11日	18 (10)	大阪国際交流センター	行政文書に関する講義
8月 25日	70 (20)	京都市国際交流協会	多文化共生フォーラム (NPO タブマネ主催) ※第4部 交流会の企画と運営を担当。
9月 26日	35 (9)	大阪国際交流センター	大阪弁護士会の弁護士と座談会
10月 27日	25 (8)	大阪国際交流センター	相談員研修 [発展編] (講師：山中京子さん)
1月 20日	12 (9)	とんだばやし国際交流協会	外国人のための一日相談会 (協力：大阪弁護士会)
2月 2日	25 (9)	大阪国際交流センター	内部研修会「在日コリアンを知っていますか? ～これからの多文化共生を考えるために～」
合 計	231 (87)		

・関係機関との協議等

国際交流協会ネットワークおおさかの推薦を受け、協会職員が大阪府外国人施策有識者会議に参加した。また、必要に応じて、施策推進を目的として関係各課と意見交換を行った。

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
2月 2日	1 (0)	センター	大阪府来館、打合せ
2月 9日	1 (0)	大阪府庁	大阪府外国人施策有識者会議
3月 21日	3 (0)	センター	大阪府来館、住宅施策に関する打合せ
合 計	5 (0)		

◆中核市ネットワーク (NATS) について

西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市はいずれも中核市であるが、府県を越えて4市が隣り合って並んでいる。現在、4市では全庁的に広域連携を進めているところであり、多文化共生の分野においても、担当課及び国際交流協会を交えて情報交換や事業面での協力を進めている。

2023年度について、定期的な情報交換を行ったほか、多言語支援センター設置訓練を協働で行うなど、より実践的に学び合うことができた。

・情報交換会等の実施

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
7月 13日	14 (1)	オンライン	ミーティング*
10月 5日	16 (1)	オンライン	ミーティング*
8月 29日	29 (1)	西宮市国際交流協会	災害時多言語支援センター設置訓練
合 計	59 (3)		

*…ミーティングは主にウクライナ避難民に対する対応、4市協働での取組について

◆多文化まなびあいネットについて

2021 年度、コロナ禍における外国人市民の生活等への影響を明らかにするため、豊中市と共同で市内在住の外国人に対し、アンケート・インタビュー調査を行い、「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告書」をまとめた。調査の実施に当たっては、豊中市は豊中市多文化共生施策推進連絡会議（事務局：豊中市）に本調査研究に関する専門部会を設置し、関係機関・団体の参加を得て行った。

2021 年度に設置した専門部会をベースに、2022 年度以降は地域で多文化共生に取り組む機関・団体が学び合い、協力・連携を進めていくためのプラットフォームとするため、「多文化まなびあいネット」（略称：たぶなび）という会議を設置している。2023 年度は防災をテーマに外部から講師を呼んで研修会及び意見交換を行った。

実施日	内容	場所	参加者数（人）（うち外国人）
12月 8日	防災に関する研修及び取組等について 情報交換 講師：譚俊偉さん（総社インターナショナルコミュニティ）	センター	23（6）
合 計			23（6）

【構成団体&機関名】

NPO 法人国際交流の会とよなか、Toyonaka Vietnamese Association 在豊中ベトナム協会、Hidaya、アジアハラマート、とよなか国際交流協会中国人グループ、在日本大韓国民団大阪府豊能支部、NPO 法人 ZUTTO 居場所ぐーてん、豊中青年会議所、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、豊中市在日外国人教育推進協議会、豊中市 [学校教育課、産業振興課、地域共生課、危機管理課、消防局北消防署・南消防署] 公益財団法人大阪府国際交流財団、とよなか都市創造研究所、とよなかESD ネットワーク、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

◆市民団体との連携及び運営支援

団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。さらに、市民団体の運営協力（助成金獲得に関する助言や推薦書の作成等）も行ったほか、市民団体との事業に共催・後援を行った。

とよなか国際交流センターの登録グループ（19 団体）との連絡会議を開催した。また、登録団体と協働で国際交流フェスタを開催した。

（2）留学生ホストファミリー事業

コロナ禍で暫く留学生との交流が滞っていたが、2023 年度は JASSO（日本学生支援機構大阪日本語教育センター）が春、大阪大学が秋にマッチングと対面式を経て交流をすることができた。大阪大学の OHP 連絡協議会（大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会）に参加したり、JASSO 担当者との意見交換も行った。

また、今年の 2 月には久しぶりにボランティア登録説明会を実施し、関心のある市民が新規ボランティアとして活動に参加することになった。

◆世話人会定例会：メンバー11人 毎月第3木曜日 全12回実施

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族 69 家族（うち新規登録 18 家族）

◆登録説明会 ※単位：家族

実施日	参加家族数	登録家族数
2月4日	27 家族	18 家族

◆留学生とのマッチング数 ※単位：組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	—	16	16	34
JASSO	18	—	18	

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位：人

実施日	学校名	内容	参加者数
6月 4日	JASSO	対面式	47
6月 30日	大阪大学	OHP 連絡協議会	2
11月 3日	大阪大学	対面式	38
1月 19日	大阪大学	OHP 連絡協議会	2
3月 7日	JASSO	来期についての打合せ	3
合 計			92

◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

12月2日「世界の飲み物」ブースのお手伝い

(3) にほんご活動事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
おとな国際事業

◆もっともっとなつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん、庄内にほんご、つながれとよなかオンライン!について

にほんご活動事業の各活動は、日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営されている。外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流を図る場として週4日(計7活動)開催した。

5月8日に新型コロナの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行し、日本語交流活動は通年対面での開催ができた。ボランティアと学習者はオンラインからセンター等での対面での活動に戻り、日々の活動が日本語学習だけでなく、双方の居場所と交流の場になっている。来日間もない学習者にとって、様々な情報源として生活を支えている。

千里にほんごでは新型コロナの間使えなかった図書館第2集会室が、2月から使えるようになり、参加人数を制限せざるを得ないという課題が解決できた。庄内にほんごは庄内コラボセンターショコラで活動をするようになり、地域密着の活動を模索している。つながれとよなかオンライン!はボランティア中心の運営を行い、学習者募集とボランティアの活動の継続を工夫している。

事業名	曜日	実施時間	参加者数(人) (うち外国人)	実施回数
もっともっとなつかえるにほんご	月	10:00~12:00	1,217 (586)	43回
千里にほんご	木	10:00~11:30	556 (163)	44回
とよなかにほんご・木ひる	木	13:30~15:00	1,796 (1,040)	44回
つながれ とよなか オンライン!	木	19:00~20:00	791 (462)	42回
とよなかにほんご・金あさ	金	10:30~12:00	2,245 (1,161)	45回
にちようがちゃがちゃだん	日	10:00~12:00	942 (475)	44回
庄内にほんご	日	13:00~15:00	875 (461)	39回
合 計			8,422 (4,348)	301回

●日本語関連研修等への参加

- ・10月17日(火) 識字・日本語豊中連絡会@豊中市立地域共生センター大会議室
- ・1月19日(金) 識字・日本語豊能ブロック交流会@とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ視聴覚室

●日本語自主グループとの情報共有

- ・自主グループとメール等で密に情報共有をしている。なお、にほんごぼちぼちは9月に活動を終了した。

◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

「保育がない」「子どもが慣れない」「家から遠い」などの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人女性や、子どもがある程度大きくなった外国人女性が気軽に参加できる居場所を提供している。市内3か所の図書館（岡町図書館、庄内図書館、千里図書館）との共催で、子育て中の外国人のママとボランティア（ボランティアも子育て中のママ）の交流活動を行っている。参加者もボランティアも子連れでも参加できる活動として、安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

2023年度は、コロナ禍以前では自粛していた料理会や屋内での体験活動なども再開し、対面で定期的に活動ができた。また、各施設におけるお祭りへの出店なども再開した。なお、「しょうない・おやこでにほんご」はボランティアの人数の関係から、今年度も隔週で活動している。

本活動は、日本語学習を中心とした活動ではなく、ママ友同士、地域でのつながりを作りながら交流することを中心としたものである。その実態及び約2年かけて行ったヒアリングや意見交換の内容を踏まえ、2024年度からは名称を一部変更し「多文化子育て支援事業 外国人ママのための場所 おやこ [おかまち・しょうない・せんり]」とすることとした。

おやこでにほんご（おかまち、しょうない、せんり）の参加者数（人）	947（うち外国人338）
----------------------------------	---------------

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	岡町図書館3階、センターなど
活動期間／活動回数	2023年4月25日～2024年3月12日／35回
活動日時	毎週火曜日 午前10:00～12:00
参加者数（人）	のべ368（うち外国人参加者148 [おとな98/子ども50]、ボランティア220 [おとな193/子ども27] ※ボランティアのうち外国人0 [おとな0/子ども0]）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月25日	おしゃべり会@センター	10月24日	おしゃべり会@図書館
5月9日	おしゃべり会@センター	10月31日	ハロウィン@図書館
5月16日	公園遊び@螢池公園	11月7日	お外遊び@谷田公園
5月23日	おしゃべり会@センター	11月14日	おしゃべり会@図書館
5月30日	くるみボタンクラフト@センター	11月21日	みかん狩り@山本農園
6月6日	おしゃべり会@図書館	11月28日	おしゃべり会@センター
6月13日	おりがみ（傘）@図書館	12月5日	おしゃべり会@センター
6月20日	おしゃべり会@図書館	12月12日	お楽しみ会@図書館
6月27日	ズンバ&ワークショップ@センター	1月16日	おもちゃパーティー@センター
7月4日	七夕制作@センター	1月23日	おしゃべり会@図書館
7月11日	おしゃべり会@センター	1月30日	節分クラフト@図書館
9月5日	防災講習@センター	2月6日	シャトルでクラフト@図書館
9月12日	おしゃべり会@図書館	2月13日	茶話会@センター
9月19日	バレッタ作り@センター	2月20日	おしゃべり会@図書館
9月26日	おしゃべり会@図書館	2月27日	ひな祭りクラフト@図書館
10月3日	物々交換会@センター	3月5日	おしゃべり会@センター
10月10日	ヤマザキパンサンドイッチ教室@センター	3月12日	おわかれ会@図書館
10月17日	おしゃべり会@図書館		

※ 活動内容に応じて、場所をセンターに変更して活動を行った。

●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	庄内図書館、庄内コラボセンター（市民公益活動支援センター、会議室、料理室）など
活動期間／活動回数	2023年4月18日～2024年3月19日／23回
活動日時	隔週火曜日 午前10：00～12：00
参加者数（人）	のべ205（うち外国人参加者26【おとな16／子ども10】、ボランティア179【おとな105／子ども74】※ボランティアのうち外国人11【おとな11／子ども0】）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月18日	おしゃべり会@対面朗読室	11月21日	おしゃべり会@対面朗読室
5月2日	おしゃべり会@対面朗読室	12月2日	とよなか国際交流フェスタにバザーなど出店@センター
5月16日	おしゃべり会@対面朗読室	12月5日	おしゃべり会@市民公益活動支援センター
5月30日	ボランティア養成講座@センター	12月19日	おしゃべり会@対面朗読室
6月20日	おしゃべり会@和室	1月16日	おしゃべり会@市民公益活動支援センター
6月27日	ズンバ@センター	2月13日	おしゃべり会@和室
7月4日	七夕制作@対面朗読室	2月18日	キッズランドinショコラにバザー出店@しょうないショコラ
7月18日	中国料理とベトナム料理作り@料理室	2月20日	世界のお茶会（フィンランド：ラスキアイスプッラづくり）@料理室
9月5日	おしゃべり会@対面朗読室	3月5日	おしゃべり会@市民公益活動支援センター
9月19日	おしゃべり会@対面朗読室	3月12日	おしごとさがし講座@市民公益活動支援センター
10月3日	おしゃべり会@対面朗読室	3月19日	フェアウェルパーティー@多目的室
10月17日	ハロウィン仮装@和室		

●せんり・おやこでにほんご

活動場所	千里図書館集会室、千里公民館料理室など
活動期間／活動回数	2023年4月18日～2024年3月12日／36回
活動日時	毎週火曜日 午前10時～12時
参加者数（人）	のべ374（うち外国人138【おとな92／子ども46】、ボランティア236【おとな165／子ども71】（ボランティアのうち外国人15【おとな15／子ども0】）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月18日	おしゃべり会@集会室	10月10日	お料理会@料理室
4月25日	クラフト（かごバッグ）@集会室	10月17日	ピクニック@万博記念公園
5月2日	母の日クラフト@集会室	10月24日	ハロウィークラフト@集会室
5月9日	ピクニック@千里中央公園	10月31日	ハロウィンパーティー@集会室
5月16日	お料理会@料理室	11月7日	読み聞かせ@集会室
5月23日	ステンシル@集会室	11月14日	物々交換会@集会室
5月30日	新ボランティア交流会@集会室	11月21日	おしゃべり会@集会室
6月6日	おしゃべり会@集会室	11月28日	クラフト（柿ときこのこ）@集会室
6月13日	父の日クラフト@集会室	12月5日	お料理会@料理室
6月20日	ピクニック@万博記念公園	12月12日	クリスマスパーティー@集会室
6月27日	お料理会（筑前煮・きんぴらごぼう）@料理室	1月16日	お正月遊び@集会室
7月4日	七夕祭り@集会室	1月23日	お料理会@料理室
7月11日	お楽しみ会@集会室	2月6日	読み聞かせ@集会室
9月5日	おしゃべり会@集会室	2月13日	バレンタインクラフト@集会室
9月12日	敬老の日カードづくり@集会室	2月20日	おしゃべり会@集会室
9月19日	ぶどうのクラフト@集会室	2月27日	ひな祭りクラフト@集会室
9月26日	秋の読み聞かせ@集会室	3月5日	お料理会@料理室
10月3日	おしゃべり会@集会室	3月12日	お楽しみ会@集会室

●合同イベント（「おかまち・おやこでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」から参加）

実施日	内容	場所	参加者数（人）（うち外国人）
6月27日（火） 10～12時	ズンバ（エクササイズの種類。豊中市出張セミナー）、活動についてのヒアリング	センター	13（3）
合 計			13（3）

●3 おやこ（おかまち、しょうない、せんり）合同イベント Farewell Party

実施日	内容	場所	参加者数（人）（うち外国人）
3月19日（火） 10～12時	卒業する参加者・ボランティアのお別れ会	庄内コラボセンター	24（3） （おとな15人、子ども9人）
合 計			24（3）

●3 おやこ連絡会

実施日	内容	場所	参加者数（人）
6月13日（火） 13～14時	ミーティング	オンライン開催	7 （うちボランティア6人、職員1人）
9月19日（火） 13～14時	ミーティング	オンライン開催	10 （うちボランティア9人、職員1人）
1月23日（火） 13～14時	ミーティング	オンライン開催	12 （うちボランティア11人、職員1人）
合 計			29

●協力・その他

- ・2/18(日)キッズランド in ショコラ 庄内図書館「読み聞かせ会」にて外国語での絵本読み聞かせ

Ⅲ. 国際理解推進事業

(1) 多文化共生推進事業

(公益目的事業名) 多様な人々が尊重される地域づくり事業
おとな国際事業

◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人が異文化に触れる機会を作るため及び講師を務める外国人のエンパワメントの機会を作るため、料理を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう」を開催している。地域在住の外国人が講師を担当している。「世界を食べよう」は飲食を伴う活動であることから、新型コロナ拡大防止のため、2020年度以降、調理を含む活動を見合わせていたが、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したことを受け、今年度より少人数で再開することとした。

調理を含む通常の「世界を食べよう」の他、料理のお話を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう～美味しい話編」と合わせて2回開催し、地域に暮らす外国人を講師として招き、世界の様々な国や地域の文化、歴史について、参加者とともに調理をしたり、食の観点からお話をさせていただくなどした。「美味しい話編」ではセンターではなく、Basic 珈琲（豊中市西緑丘。レシピ本の委託販売先）で開催した。センターとは異なる場所で開催したことで、普段、センターの活動になかなか参加できない人の参加を得ることができた。

また、レシピ本をみたFM西大和のラジオDJの方から申し出があり、レシピ本に掲載されているレシピを毎月1回1つずつ紹介いただくことになった（2023年8月放送開始、2024年7月まで放送）。

●世界を食べよう

開催日	実施内容	講師名	場所	参加者数(人) (うち外国人)
6月29日	ベトナム料理(料理を作 て交流)	グエン・ティ・トゥエト・ ラン	センター	14 (1)
11月16日	美味しい話編 中国薬膳(お 話を聞いて交流)	張 雅斐	Basic 珈琲	6 (0)
合 計				20 (1)

●世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』の頒布

このほか、2020年度末に発行した“世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』”の頒布や広報を精力的に行った。(委託販売先：Basic 珈琲、Asian Halal Mart)

レシピ集『世界を食べよう』の有料頒布数	181冊
---------------------	------

●ラジオ番組におけるレシピ紹介

FM西大和(FMハイホー)の番組『Smile Together』(DJ Sunny、毎週金曜16時～18時放送)では、「Smile Cooking」というコーナーにおいて、“世界の家庭料理レシピ集『世界をたべよう』”のレシピ紹介を行った(毎月第3金曜日)。そのうち2回で、職員がゲスト出演を行っている(8月18日 タイ料理 [職員]、1月19日 ネパール料理 [多言語スタッフネパール語担当])

◆多文化多言語セミナー

広く市民を対象として、気軽に参加できる国際理解や多文化共生についての学びの場を開催した。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
5月 9日	ネパールの今を知ろう ～社会・政治の課題から～	小倉清子さん(元ジャーナリスト・ネパール在住)	33(3)
7月 15日	イスラームを知ろう 茨木モスクフィールドワーク	モフセン・バミュさん(イマーム)、桂悠介さん (立命館大学プロジェクト研究員)	32(4)
8月 22日	<共催事業> 在日ネパール人の教育課題～親の希望と子どもの未来～	ハヤシザキカズヒコさん(福岡教育大学)、シム チュン・キャットさん(昭和女子大学)、山之内 裕子さん(関西大学)、榎井縁さん(大阪大 学)、パティ シュレスタさん(協会) 主催: 在日ネパール人の子どもの教育課題研究会	35(9)
10月 19日	<共催事業> ネパールの先生と話そう～コックの 送り出し村の教員が語る移民の子 どもの教育～	安念真衣子さん(国際ファッション専門大学)、 ビル・バハドゥール・ボハラさん(バグルン郡学 校教員)、マナ・バハドゥール・カトリさん(カ トマンズ市学校教員) 主催: 「日本と出身国を往来する移民の子どもの 社会再統合を見据えた言語教育一母語・公用語の 補習教室を地域の「多文化共生」の拠点に」 (Migrant Children Language: MICLE) プロジェクト	110(16)
11月 26日	<共催事業> SDGsを知る、世界の中での日本の現 状～SOS! このままでは地球が危ない	三輪敦子さん(ビューライツ大阪所長、SDGs ジャパ ン共同代表理事) 主催: 国際交流の会とよなか	18(1)
2月 11日	<共催事業> 私が歩んで来た道 ～アジアに生命の 水を贈り続けて～	熱田典子さん(アジア協会アジア友の会) 主催: 国際交流の会とよなか	26(1)
3月 9日	<共催事業> ガザ攻撃はジェノサイドでは? ～その背景と私たちの責任	役重善洋さん 共催: 国際交流の会とよなか	87(5)
合 計			341(39)

◆「世界の『ミカタ』～みんなで楽しむ国際交流～」

2021年度にスタートした国際理解プログラム。今年はセンターへ来ることが難しい方も参加できるように庄内コラボセンターで実施し、幅広い年齢層や背景の方の参加があった。文化や言葉について知るだけでなく、グループワークや疑似体験を通して「ちがいが」「あたりまえ」「多様な価値観」等について考え、積極的に意見交換する場を提供した。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
8月 26日	世界の『ミカタ』～みんなで楽しむ国際交流 ～	フローラ カラビア サンティアゴさん ワン シャオ ジュンさん	15(5)

◆コモとスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した協会キャラクター「コモとスース」のイラストの絵葉書を5枚1組で作成し、2017年度より継続して頒布している。

◆国流シネマカフェ/とよなかシネコン

国流シネマカフェは、国際交流や人権に関する映画を上映し、社会課題について新たな気付きを促す企画として実施している。2023年度は全3回のうち、第1回、第3回は国流シネマカフェとして実施し、第2回はとよなかシネコンの一部として実施した(場所はいずれもすてっぷホール)。

とよなかシネコンは、市内公共施設が取り組む課題や社会問題について映画を通して考えるきっかけにしてもらうため、市内公共施設と協働で行っている。コラボ企画「とよなかシネコン」の参加団体はとよなかESDネットワーク、とよなか男女共同参画推進財団、中央公民館、庄内公民館、とよなか市民環境会議アジェンダ21と協会。

	開催日	上映作品	参加者数(人)(うち外国人)
第1回	8月11日	「ブルーパイユー」 ※英語音声、日本語字幕	56(4)
第2回	1月14日	「マイスマールランド」	54(3)
第3回	3月19日	「君の名前で僕を呼んで」 ※英語音声、日本語字幕	45(2)
合計			155(9)

*...とよなかシネコン全体のスケジュール、上映作品、担当機関・団体については以下のとおり。

[1]	12月16日	「こどもかいぎ」	[アジェンダ21]
[2]	12月20日	「アレッポ最後の男たち」	[とよなかESDネットワーク]
[3]	12月23日	「モダンタイムス」	[中央公民館] ※庄内公民館と共催
[4]	1月10日	「おクジラさま ふたつの正義の物語」	[とよなかESDネットワーク]
[5]	1月14日	「マイスマールランド」	[協会]
[6]	1月27日	「バハールの涙」	[とよなか男女共同参画推進財団]

◆協会・センター設立30周年関連事業

2023年10月に協会・センターが設立30周年を迎えることを記念し、周年事業を開催した。企画に当たり、より多くの市民が関心を持ちそうな講演会やファッションショーを秋に開催し、年明けからは多文化共生の歴史、現状や課題について、研究者、実践者、外国人当事者から広く深く学ぶことができるようにした。

また、参加者には協会の広報活動として、設立30周年を記念したウェットティッシュを作成し、配布した。

実施日	テーマ	参加者数(人)(うち外国人)
10月9日	「世界を食べよう！食を通して人はつながる」 講師：コウケンテツさん(料理研究家) * 参加者へはコウケンテツさん記念講演特別レシピ「海藻が香る、濟州島風鶏の栄養スープ」を配布	138(5)
11月25日	世界の民族衣装ファッションショー	134(80)
1月21日	連続セミナー①「多文化共生社会を問う～外国人の歴史的状況から」 講師：田中宏さん(一橋大学名誉教授)	44(8)
2月18日	連続セミナー②「日本で暮らす難民移住者たち」 講師：ビスカルド篤子さん (カトリック大阪高松大司教区シナピス副センター長)	38(5)
3月3日	連続セミナー③「世界のミカタ～市民として出会い、知り合う～」	30(8)
3月23日	シンポジウム「多文化を大事にする地域社会をどうデザインしていくか考える」 登壇者：金迅野さん(元かながわ国際交流財団職員) 榎井縁さん(大阪大学特任教授、協会理事) 山野上隆史(協会常務理事兼事務局長)	34(4)
合計		418(110)

(2) ボランティア研修事業

日本語交流活動のボランティア希望者を対象に、年1回(秋)、ボランティアの養成講座を実施している。外国人を取り巻く現状や社会課題、協会が大切にしている「交流型」の日本語活動の考え方について学ぶ。今年度

はコロナ禍以来、初めて対面で養成講座が実施できた。また「庄内にほんご」の参加希望者に特化したボランティア養成講座を4月2日に実施している。

ボランティア養成講座に加えて、活動の見学の機会を設定し、ボランティアが実際に活動に参加するまでのサポートに取り組んでいる。また、ボランティアが活動に継続して参加しやすいように参加後、一定期間が経った頃にフォローアップ研修を行っている。

さらに今年度はボランティアが減りつつある現状を踏まえ、活動参加前に複数の活動を見学できるようにし、実際に1つ以上の活動に参加することができるようにした。新規ボランティアが活動に参加する時の選択肢が増え、活動の幅と継続が向上した。

「多文化子育て支援ボランティア養成講座」は、2019年度ぶりの対面開催となった。また、昨年度は開催できなかったフォローアップ研修について、現役ボランティアを交えて開催し、参加者同士が活動運営について改めて考える機会を設けることができた。

◆「庄内にほんご」ボランティア養成講座 ※対面での開催

実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月2日 10:00～12:30	〔ショコラ〕で始めてみませんか？日本語交流活動 @「庄内にほんご」 地域日本語教室よもやま話＋大阪府教育庁教材『きいてまねしてはなして』について	安田乙世さん（日本語教育支援グループことのは副理事長／NPO 法人おおさかこども多文化センター理事）	17

◆日本語ボランティア養成講座 ※コロナ禍以来、初めて対面での開催

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	9月12日(火) 10:30～12:30	「ボランティアをはじめよう！～豊中社協の外国人支援の取り組みを通して考える～」	勝部麗子さん（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会）	45
第2回	9月19日(火) 10:30～12:30	「ともに生きる社会を作る～いくのパークの生い立ちと取り組みから～」	金和永さん（(特活)クロスベイス、(特活)IKUNO多文化ふらっと）	43
第3回	9月26日(火) 10:30～12:30	外国人を取り巻く状況と協会の取り組み 各『日本語交流活動』の紹介	大庭みゆき・林陽（協会職員）	39
合計				127

◆ボランティア研修会（ハラスメント研修） ※対面での開催

実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
1月29日 14:00～16:00	「みんなの多様性が大切にされる活動をめざして～マイクロアグレッションを中心に～」	ヨコタ ジェリーさん（大阪大学名誉教授、協会理事）	27

◆日本語ボランティアフォローアップ研修 ※対面での開催

実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
2月10日 10:00～12:00	「入門期の学習者との交流のコツ～テキスト『きいてまねしてはなして』を活用しながら～」 「日本語ボランティア活動よろず相談室～日頃の悩みを共有しよう！～」	安田乙世さん（日本語教育支援グループことのは副理事長／NPO 法人おおさかこども多文化センター前理事）	25

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

2023年度は、センターにて3年ぶりに対面開催で実施した。

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	5月16日(火) 10:00~12:00	「ボランティアをはじめよう!~子育て支援ボランティアが大事にしたい視点とは?~」	上村有里さん(とよなかESDネットワーク、市民公益活動支援センター)	22
第2回	5月23日(火) 10:00~12:00	「『性の多様性から「じぶん」について考える』~誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと~」	田中一步さん・近藤孝子さん (にじいろiRu)	21
第3回	5月30日(火) 10:00~12:00	協会/『おやこでほんご』・『多文化子ども保育にこにこ』の活動紹介、交流会	おやこでほんご・多文化子ども保育にこにこボランティア、協会職員	27
合計				70

◆ボランティア研修

外国人ボランティア等が講師派遣や活動の中で感じるもやもやについて、その意識化や対応するためのプログラムについて考えることを目的として「ワークショップ!『ふつう』って何やねん!?!~多様性を認め合い自分らしく生きることができる社会づくりに向けて~」を実施した。

対象：講師派遣等に参加する外国人ボランティア、豊中市小中学校教員、協会事業ボランティア

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
第1回	7月8日(土) 10:00~12:00	その印象はどこから?~ステレオタイプと思いこみ~	内山唯日さん(Bridge Project)	20
第2回	7月22日(土) 10:00~12:00	日常に潜むチクチク言葉~マイクロアグレッション~	内山唯日さん(Bridge Project)	19
第3回	8月5日(土) 10:00~12:00	多様性を『自分ごとにする』伝え方を考えよう	内山唯日さん(Bridge Project)	15
合計				54

◆多文化子育て支援ボランティアフォローアップ研修

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
	7月6日(木) 10:00~12:30	「今後の活動をどうしていくか」	上村有里さん(とよなかESDネットワーク、市民公益活動支援センター)	14

◆まるわかりセミナー

広く市民に対して多文化共生について知ってもらうための講座を開催した。2023年度は、現在の豊中市の外国人の状況・課題に限らず、日本社会全般の状況と課題について話を行った。また、その話の内容を受けて、小グループで自分たちにできることについて話し合いを行った。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
11月11日(土)	聴いてなっトク!まるわかりセミナー ~私の力でつろう! 多文化共生のまち豊中~	山野上隆史 (協会職員)	25(1)
合計			25(1)

(3) おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人が講師となり、国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師にとっては持っている力を発揮する機会になった。インターンシップ実習で受け入れられている大学生が中心となって企画し、講師と打ち合わせを重ねて、楽しく体験できるプログラムを企画・実施した。2023年度は一日コリアを親子で楽しむ『チョア チョア コリアンデー』も開催した。

	実施日	テーマ	参加者数 (人) (うち外国人)	参加者内訳 (うち外国人)
第1回	8月18日(土)	ペルーを知ろう	12 (4)	子ども5 (2)、保護者2 (1) ボランティア・スタッフ5 (1)
第2回	9月23日(土)	中国を知ろう	25 (9)	子ども10 (5)、保護者8 (2) ボランティアスタッフ7 (2)
第3回	10月14日(土)	ネパールを知ろう	14 (6)	子どもども7 (2)、保護者3 (2) ボランティア・スタッフ4 (2)
第4回	11月4日(土)	フィリピンを知ろう	14 (6)	子ども4 (2)、保護者4 (2) ボランティア・スタッフ6 (2)
第5回	1月20日(土)	チョア チョア コリアンデー	39 (24)	子ども22 (16)、保護者6 (1) ボランティア・スタッフ11 (7)
合計			104 (49)	子ども48 (27)、保護者23 (8)、 ボランティア・スタッフ33 (14)

(4) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方による「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。場所はセンター。2023年度は保護者会が発足した。毎月保護者会を開催したり、積極的に子どものための企画を提案したりした。

民族講師(ソンセンニム): 金仁淑、高美和

	実施日	内容	参加者数 (人) (うち外国人)	教員・大人 (人) (うち外国人)
—	4月15日(土)	実行委員会ミーティング	—	6 (2)
第1回	5月20日(土)	開校式、名札・自己紹介カードづくり等	11 (11)	19 (8)
第2回	6月24日(土)	端午の話、うちわ作り等	11 (11)	18 (8)
第3回	9月16日(土)	チュソクについて、工作など	9 (9)	18 (9)
第4回	10月14日(土)	楽器体験、カルタなど	9 (9)	15 (8)
第5回	11月18日(土)	フィールドワーク「民博に行こう」	9 (9)	13 (8)
第6回	12月16日(土)	多文化フェスティバルに参加しよう	9 (9)	14 (9)
第7回	1月28日(土)	お正月あそび、お料理会	9 (9)	19 (11)
第8回	2月18日(土)	カルタ大会、文集づくりなど	6 (6)	15 (7)
第9回	3月19日(土)	修了式、工作など	10 (10)	20 (8)
小計			83 (83)	157 (78)
合計			240 (161)	

◆ハギハッキョ(夏期学校)

日程	名前	場所	参加者数 (人)
7月25日、26日	第44回ハギハッキョ(夏期学校)	豊中市立桜井谷小学校	19
8月1日、2日	ハギハッキョキャンプ	わっぱる	7
合計			26

IV. 在住外国人に対する支援事業

(1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的な仕組みづくり事業
子どもサポート事業

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくりを行っている。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持ったりできる場になっている。また、保育の専門知識を持つボランティアへの子育て相談や、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場にもなっている。2023年度は参加者やボランティアにとって安心・安全に活動ができるように気を付けながら、昨年度以上の回数を実施することができた。また、お楽しみ会を企画・実施することができた。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数 (人)	参加者数 (人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
木曜日	13:30~15:00	32回	5	119 (うち外国人の子ども 58、ボランティア 61)
金曜日	10:30~12:00	42回	6	227 (うち外国人の子ども 122、ボランティア 105)
合 計				346 (うち外国人の子ども 180、ボランティア 166)

(2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会うことを目的に、母語教室を月に2回開催した。母語教室のスタッフは外国にルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア（同じ経験をした仲間）サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

2020年度、2021年度は新型コロナの影響が強かったが、2022年度以降は安定して対面での活動を行うことができ、2023年度は中国語とスペイン語のクラスを開催した。ルーツの国の遊びや料理など、多様な形でルーツの文化に触れる機会を作ることができた。こういった体験型活動の充実により参加者間の交流が深まり、参加者の定着につながったと考えられる。また2023年度はサンブレイスと合同の遠足を2回開催し、子ども同士の交流が多く見受けられた。

クラス	実施曜日	時間	回数	参加者数 (人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
中国語	第2、4日曜日	10:00~12:00	23回	132 (132) (うち外国人の子ども 75、ボランティア 57)
スペイン語	第2、4日曜日	10:00~12:00	23回	111 (111) (うち外国人の子ども 52、ボランティア 59)
合 計			46回	243 (243) (うち外国人の子ども 127、ボランティア 116)

<ボランティア研修> ※学習支援・サンブレイスと合同で実施。参加者数は子ども母語スタッフのみを記載

実施日	内 容	講師	参加者数 (人) (うちボランティア)
9月18日	「ハーフ」「ミックス」の事例から外国につながる子どもとの関わりを考えよう	下地ローレンス吉孝さん (社会学研究者)	24 (15) (うちボランティア 15)
2月23日	メディア・リテラシー入門講座「子どもとメディア」	登丸あすかさん (文京学院大学)、田島知之さん (京都府立大学)	16 (15) (うちボランティア 15)
合 計			40 (30)

(3) 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子ども（小学生～高校生）を対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。ボランティアの中には外国にルーツを持つ大学生もおり、子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。2023年度も新しいボランティアの参加があり、日本生まれ、育ちの外国にルーツを持つ大学生や留学生のボランティアの割合が増えた。また、ボランティア研修を通して人権や多様性を大切にする場づくりへの理解を深めた。

2023年度は、秋と春に2回、子ども母語と合同の遠足を実施し、ボランティア・子ども同士の交流の場となった。ボランティアが積極的に、季節的なイベントを館内で行うなど、子どもたちが楽しめるような様々な仕掛けや工夫を日々活動の中で行った。多文化フェスティバルでは、スライム作りを出店したり、参加者の希望をボランティアがサポートしてステージでダンスを披露することが出来た。

<定例>

実施日	時間帯	回数	参加者数(人) (うち外国人)
日曜日 ※第1日曜日を除く	13:00~15:00	35	389 (269) (うち外国人の子ども187、ボランティア202 [うち外国人82])
合計			389 (269)

<その他イベント>

実施日	内容	参加者数(人) (うち外国人)
8月17日	サンプレ・インテンシブ①	8 (6) (うち外国人の子ども4、ボランティア4(2))
8月20日	サンプレ・インテンシブ②	11 (9) (うち外国人の子ども8、ボランティア3(1))
10月22日	サンプレ・母語合同企画 BBQ (緑地公園)	23 (20) (うち外国人の子ども17、ボランティア6(3))
3月10日	サンプレ・母語合同企画 春の遠足 (万博記念公園)	28 (23) (うち外国人の子ども16、ボランティア11(7))
合計		70 (58) (うち外国人の子ども45、ボランティア24(13))

<ボランティア研修> ※子ども母語と合同で実施。参加者数はサンプレイスのボランティアのみを記載。 ※再掲

実施日	内容	講師	参加者数(人) (うち外国人)
9月18日	「ハーフ」「ミックス」の事例から外国につながる子どもとの関わりを考えよう	下地ローレンス吉孝さん (社会学研究者)	24 (15) (うちボランティア15)
2月23日	メディア・リテラシー入門講座「子どもとメディア」	登丸あすかさん (文京学院大学)、田島知之さん (京都府立大学)	16 (15) (うちボランティア15)
合計			40 (30)

<その他> ※現役ボランティアによる新ボランティア希望者向けの説明会を実施した。

実施日	内容	参加者数(人) (うち外国人)
5月21日	サンプレイスボランティアについて (活動紹介、大切にしてほしい視点等)	5 (3)
合計		5 (3)

(4) 若者支援

外国にルーツを持つ人の中でもこれまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2016年度からは「若者のたまりば」と「わかもの相談」、日本語学習支援と地域イベントへの参加等を中心にして活動を行った。2020年度までは自主事業（多文化子どもエンパワメント事業）として外部の助成金を得て活動していたが、2021年度より指定管理事業となり子どもサポート事業の一部として実施している。

若者事業の開始より10年目となる2022年度はこれまでの活動を振り返り、成果と課題を整理して今後の事業をデザインし、新たな形での活動を開始した。2023年度は新しいコーディネーター3名を迎え、他機関との連携や活動内容の充実を図った。

[1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

定例活動では、参加者が外国にルーツを持つ仲間（ピア）と出会い、相互に交流できるような場づくりとして、料理やボードゲームなどの活動を通じた交流を行い、随時ニーズに応じて進学や就労に向けた日本語の支援も行った。

2023年度は、定例の第一土曜日の活動だけでなく、参加者のニーズに合わせて追加で活動も行った（不定期）。活動の回数が増えたことで、参加者同士の関係性が深まった。また、地域の夏祭りや、参加者が在学している学校の文化祭に出向くなど外に出て活動する機会も増えた。庄内コラボセンター1階のカフェコーナーにて、2回カフェの出店をたまりばの参加者とともにすることができた。

<若者のたまりば> ※対象者は外国にルーツを持つ若者（15～39歳）

実施日時	場所	内容	回数	参加者数（人） （うち外国人）
第1土曜日 13～15時 （このほか、不定期で開催）	センター	若者が集まり、料理やボードゲーム等を通じた交流、居場所づくりを行った	23回	146（103） （うち若者85）
			合計	146（103） （うち若者85）

<その他イベント>

実施日	内容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
12月2日	国際交流フェスタに出店	センター	7（5）
合計			7（5）

[2] 高校進学のための相談・同行支援

出身国で中学校卒業相当の教育を修了してから来日した若者の高校進学に関する相談対応について、多言語相談サービスと連携しながら、情報提供や大阪府教育庁への同行支援など必要な支援を行った。

2023年度は、昨年度と同様に家族の呼び寄せ等により来日した若者が複数おり、高校進学支援（日本語学習、出願書類等作成支援）を実施した。

<同行支援>

実施日	内容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
9月14日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	4（4）
合計			4（4）

<その他>

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
4月 21日	桜塚高校 (定時制の課程) への訪問	大阪府立桜塚高等学校	2
6月 6日	桜塚高校 (定時制の課程) 内の居場所「うーぱー」への訪問	大阪府立桜塚高等学校	4 (※コーディネーター3人を含む)
合 計			6

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加職員 (人)
4月 21日	第1回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	センター	1
5月 19日	第2回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	センター	1
7月 14日	第3回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	センター	1
10月 17日	子どもの居場所ネットワーク事業 第1回こどもまんなか円卓会議	すてっぷ	1
11月 10日	第4回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	センター	2
11月 27日	子どもの居場所ネットワーク「蛍池・刀根山小学校区 いこっと地域交流会」	蛍池公民館	1
12月 14日	子どもの居場所ネットワーク「緑地・北条小学校区 いこっと地域交流会」	長興寺会館	1
2月 3日	子どもの居場所ネットワーク「東豊中・南丘小学校区 いこっと地域交流会」	おおきなき幼稚園	1
2月 16日	第5回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	センター	2
2月 22日	子どもの居場所ネットワーク「克明・箕輪小学校区 いこっと地域交流会」	センター	1
2月 26日	子どもの居場所ネットワーク事業 第2回こどもまんなか円卓会議	すてっぷ	1
合 計			13

◆外国人保護者のための入学準備説明会 (共催：豊中市教育委員会)

就学前の子どもをもつ保護者を対象に、日本の学校について説明、質疑応答を行うことで学校とのコミュニケーションの不安を解消し、子どもを安心して学校に通わせられるようになることを目的として実施している。

日 時	内 容	場 所	参加者数 (人) (うち外国人)
1月 28日 (日) 14:00~15:30	小学校についての説明、質疑応答	センター	17 (17) ※外国人親子8組
合 計			17 (17)

◆豊中市子ども読書活動連絡会

2005年に策定された「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念は、「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」の中に組み入れられている。この理念のもと、子ども読書活動連絡会が立ち上がり、協会ではおやこでにほんごのボランティアと職員が委員として毎年参加している。子ども読書活動連絡会に参加することは、外国人・外国ルーツの子ども (家庭) についての視点を地域に浸透させるとともに、豊中市の関連部局との連携、子どもと読書に関わる地域市民との交流を進める上で大きな意味をもっている。

協会では、計画に基づき、外国人の子どもが参加する全ての事業で、活動の中に読書推進の取組を盛り込むことに努めている。センター内の図書コーナーには、外国語絵本コーナーもあり、事業横断的な外国人市民の読書推進活動を行っている。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取組を行っており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境づくりを意識している。センター内の開かれた場所に多様な言語の蔵書が配架されていることは、利用者の安心・安全な居場所づくりにも寄与しているものと考えられる。

[連絡会への参加]

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
6月23日	第1回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	2 (0)
11月30日	第2回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	2 (0)

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんなあつまれわくわくランドへの出展

日時	場所	内容	参加職員(人)
10月28日(土) 10:00～12:00	千里体育館	世界の民族衣装(帽子)の体験、民族衣装の顔出しパネル体験、乳幼児や親子を対象とした活動の紹介	1

(5) 防災事業

2016年度に締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」(豊中市)に基づき、2020年2月3日に災害時多言語支援センターを設置し、引き続き、多言語情報発信及び相談業務に当たった(新型コロナが5類感染症に移行したことを受け、5月8日に災害時多言語支援センターは閉鎖)。その他、台風や地震等の災害情報に関しても適宜提供するなどし、外国人が地域で安全に過ごせるように取り組んだ。

外国人のための防災セミナーを開催(講師:塚本俊也さん[大阪大学特任教授])したほか、神崎川流域合同防災訓練ならびに庄内校区自主防災会の避難所開設訓練に参加したほか、豊中市消防局との協力による消防セミナーを開催した。その他、京都市国際交流センターやNATSで開催された研修へ参加した。また、災害時に多言語支援情報を速やかに発信することをめざして、災害時多言語情報のテンプレートを作成し能登半島地震の際に活用した。このほか、協会職員が防災士の資格を取得している(6月)。

実施日	内容	場所	参加者数(人) (うち外国人)
6月24日	Kokoka 防災訓練・トルコ地震から学ぶ災害時の外国人支援	京都市国際交流センター	1 (0)
9月13日	外国人のための防災セミナー 講師:塚本俊也(大阪大学特任教授)	センター	36 (29)
11月12日	神崎川流域合同防災訓練 参加・ブース出展	グリーンスポーツセンター	5 (2)
1月20日	庄内校区自主防災会 避難所開設訓練	庄内さくら学園	4 (3)
2月10日	地震対策セミナー (FYAHCの活動内で実施)	センター	5 (4)
2月13日	災害時多言語支援センター設置訓練 (NATSとして開催)	西宮市国際交流協会	3 (1)
3月8日	外国人のための消防セミナー	豊中市北消防署	25 (24)
合計			79 (63)

(6) コミュニティ活動

◆フィリピン人中老年の居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」

2017年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所づくり調査事業」の調査結果を踏まえ、2018年度から、今後急速に高齢化を迎えるであろうフィリピン人向けの居場所づくりを実施している(フィリピン人の多言語スタッフが中心となってコーディネートしている)。

例年、開催頻度は毎月1回、第1日曜日としていたが新型コロナの影響を受け、昨年度に引き続き、定期的な対面活動は実施が困難だった。一方で、お出かけイベント(BBQ)で親睦を深めたほか、協会・センター設立30周年記念イベントである多文化ファッションショーに出演した。また、6月に冠婚葬祭セミナー、2月に地震対策セミナーも開催した。このほか、ヒューマンライツ・ウォッチによる外国にルーツをもつ子どもと保護者へのインタビュー調査に協力した。

実施日	内容	場所	参加人数(人) (うち外国人)
6月 4日	冠婚葬祭セミナー 講師：熊川サワコさん(ほくせつマメの木)	センター	4 (4)
7月 8日	BBQ	LINKS 梅田	16 (15)
9月 2日	多文化ファッションショーにむけた練習①	センター	6 (6)
11月 11日	多文化ファッションショーにむけた練習②	センター	6 (6)
11月 11日	ヒューマンライツ・ウォッチ インタビュー調査協力	センター	2 (2)
11月 23日	多文化ファッションショーにむけた練習③	センター	6 (6)
11月 26日	協会・センター設立30周年記念 多文化ファッションショー 出演 (モデル出演&ステージ発表)	すてっぷホール	モデル 6 (6) ステージ発表 13 (13)
2月 10日	地震対策セミナー 講師：山根絵美(協会職員、防災士)	センター	5 (4)
合計			64 (62)

V. 在住外国人に対する相談事業

・相談サービス

(公益目的事業名) 周縁化される外国人のための総合的な仕組みづくり事業
おとなサポート事業

生活相談・外国人女性専用電話相談 毎週月～土曜日 11:00～16:00	相談件数(臨時通訳除く) 計 : 2,613件
相談員	吉嶋かおり(金)、ラボルテ雅樹(木)、職員(月・火・土)
コーディネーター	ジャ・チン(月・木・金・土)
多言語スタッフ	中国語 ジャ(月・木・金・土)
	韓国・朝鮮語 ジェイ(木・金・土)
	フィリピン語/英語 マリア(木・金)
	タイ語 ブレーン(木・金)
	ベトナム語 トゥエット(木・金)
	スペイン語 (テレサ:事前予約制)
	インドネシア語/英語 アナンダ(木・金)
	ネパール語 バティ(木・金・土)
臨時通訳	臨時通訳件数:22件

※ 上記以外の多言語スタッフ以外に、電話通訳登録者などに臨時通訳を依頼。

[相談体制]

2020年度より法務省「外国人受入環境整備交付金」による多文化共生総合相談ワンストップセンターを豊中市が受託したことにより、相談員の増員、多言語スタッフの対応曜日を追加するなどして、体制強化を行っている。

2023年度も引き続き、研修を実施したほか、定期的に面談を行い、対応能力の向上を図ることで体制の強化を図った。

[相談の件数について]

2023年度の相談件数は2,613件であった。2018年度が1,001件、2019年度は952件であったが、2020年度に専門相談員と多言語スタッフが常駐する相談日を増設し、体制を強化した結果1,848件に増加した。その後、新型コロナウイルスを含めた「医療」の相談が増加し、2021年度に3,376件、2022年度は2,456件となった(以下、相談項目を取り上げる場合は< >で記載)。2022年度と比べて2023年度は相談件数が増加し、さらに相談者が抱える課題は複合化している様相がある。

国籍別の相談件数では、ネパールが3割を越え、前年度に引き続いて一番多い。次いで、フィリピン、中国、外国にルーツを持つ日本国籍順となっている。

▽相談者の国籍

ネパール国籍の相談者が33.2%(前年度29.5%)と引き続き増加が著しい([参考] 2018年度は8.7%)。フィリピン18.5%(前年度18.1%)、中国14.3%(前年度11.9%)、日本国籍6.5%(親が外国籍など、外国にルーツをもつ相談者。前年度9.1%)、韓国5.4%(前年度8.1%)、インドネシア3.8%(前年度1.0%)、ベトナム2.6%(前年度4.0%)であった。

なお、日本国籍の相談者は116件(前年度166件)で、そのうち使用言語が日本語以外の相談は86件(前年度80件)。外国籍で日本語の相談を行ったのは487件(前年度642件)であり、46か国(前年度46か国)から相談があった。

在留資格別の相談件数では、活動に基づく在留資格である「家族滞在」が26%となった。身分又は地位による在留資格で相対的に安定した在留資格である「永住者」「定住者」「日本人の配偶者等」からの相談の合計24.6%を初めて上回った。「家族滞在」について、さらに出身別に見るとネパールが67%を占め、年代別に見ると10代が最も多い。相談内容別に見ると<学校>に関する相談が3割近くを占め、次いで在留資格ならびに<求職就職>に関する相談が多い。これらの傾向から相談者像の類型として、若年層が進学などの自らのライフコース上の課題に対応しながら、在留資格上の不安や、家族(「技能」の在留資格で働く家族)の生計の担い手としての課題にも直面していることがうかがえる。

在留資格別の相談件数について、活動に基づく在留資格では「家族滞在」の次に「技能」が多く、出身別に見るとこれもネパールが91.9%を占めている。相談内容別に見ると<生保・公的扶助>、居住費が低廉なく公営住宅>に関する相談が多い。なお、在留資格「技能」の人は生活保護を利用できない中で、経済的課題を抱えていることが伺える。また、家族を呼び寄せることができるため<学校><保育所・幼稚園>に関する相談も多い(在留資格「技能」の家族は在留資格が「家族滞在」になる)。

日本国籍の相談者(親が外国籍であるなど、外国にルーツをもつ相談者)は10代と20代で半数近くを占めており、相談内容別に見ると<学校>と<メンタルヘルス>で半数近くを占める。

▽相談者の在留資格：

身分又は地位による在留資格の合計は24.6%(前年度27.9%)で、さらにその内訳を見ると日本人の配偶者等11.3%(前年度7.9%)、定住者4.7%(前年度5.7%)、永住者7.7%(前年度14.3%)、その他0.9%(前年度0%)であった。

活動に基づく在留資格は、家族滞在26.7%(前年度23.0%)、技能9.7%(前年度11.2%)であった。

[相談内容と件数]

大項目	内容別件数 (前年度比)	全体に占める割合 (%)	前年度 件数	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	225 (106.6%)	8.6	211	結婚 (0.5)、離婚 (2.7)、親権・養育費 (0.7)、DV (1.7)、不和・不満 (1.4)、無断離婚 (1.0)、夫婦その他 (0.6)
手続き	274 (124.0%)	10.5	221	在留資格・パスポート (7.4)、家族呼び寄せ (1.3)、養子 (0.1)、日本国籍取得・帰化 (0.9)、手続その他 (0.8)
地域行政 関係	399 (95.7%)	15.3	417	健保・年金 (3.1)、税金 (1.0)、マイナンバー (0.1)、生保・公的扶助 (3.3)、公営住宅 (4.2)、高齢福祉 (0.2)、障害福祉 (0.6)、運転免許 (0.3)、行政手続その他 (2.1)、防災・災害 (0)、その他 (0.4)
医療保健	234 (79.6%)	9.0	294	メンタルヘルス (3.8)、医療 (3.2)、母子保健 (1.5)、その他 (0.5)
人間関係	130 (120.4%)	5.0	108	友人 (1.3)、地域 (0.7)、職場 (0.7)、家庭 (1.8)、その他 (0.5)
労働	235 (112.4%)	9.0	209	求職就職 (5.2)、給料未払い (1.0)、失業や退職 (0.7)、労災 (0.1)、就労定着上の問題 (0.8)、起業・経営 (0.5)、その他 (0.7)

子ども	538 (118.5%)	20.6	454	子育て(2.4)、保育所・幼稚園(1.7)、学校(12.2)、虐待(1.4)、引きこもり・不登校(0.5)、いじめ・暴力(0.6)、その他(1.8)
日常生活	550 (113.2%)	21.0	486	民間住居(家探し・退去問題ほか)(1.9)、金銭問題(借金・相続)(0.8)、日常生活(地域情報)(7.8)、通訳・翻訳(1.2)、生活困窮(民間扶助)(1.3)、日本語学習(6.5)、交通事故/保険(0.2)、その他(1.3)
その他	28 (50.0%)	1.0	56	人権侵害、犯罪(0.6)、その他(0.4)

※ 1つの相談が複数のテーマにまたがるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談案件への支援、協会で受けた相談案件に対する他機関からの協力など、他機関との連携による相談は239件(前年度比112.7%)だった。2023年度より豊中市で多機関連携会議が始まったことも件数が増加した背景の一つにある。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)、独居高齢者、障害をもつ児童の家庭や生活、手続き等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもへの虐待、学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、地域共生課、保健センター、こども安心課、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(くらし支援課)、地域包括支援センター他
豊中市以外の自治体・学校	福祉事務所・生活支援部局、DV担当、保健センター、府・他市教育委員会、公立学校、他校
公的支援機関	社会福祉協議会、子ども家庭センター、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	在住外国人支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、警察、企業・事業所、協会事業ボランティア、議員

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び、資質向上を図った。

実施日	テーマ	講師等	参加者数(人) (うち外国人)
5月12日	アウトリーチ・居場所運営検討会議1	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
5月19日	多言語スタッフ研修会1	吉嶋かおり(主任相談員・臨床心理士)	10(8)
7月6日	グループスーパービジョン1	山中京子さん(コラボレーション実践研究所長)	15(13)
7月21日	アウトリーチ・居場所運営検討会議2	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
7月27日	多言語スタッフ研修会2	ラボルテ雅樹(相談員)	7(7)
9月15日	アウトリーチ・居場所運営検討会議3	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
11月10日	多言語スタッフ研修会3	吉嶋かおり(主任相談員・臨床心理士)	10(8)
11月17日	アウトリーチ・居場所運営検討会議4	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
12月15日	多言語スタッフ研修会4	吉嶋かおり(主任相談員・臨床心理士)	7(6)
1月19日	アウトリーチ・居場所運営検討会議5	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
1月25日	多言語スタッフ研修会5	ラボルテ雅樹(相談員)	7(7)
2月8日	グループスーパービジョン2	山中京子さん(コラボレーション実践研究所長)	15(13)
3月15日	アウトリーチ・居場所運営検討会議6	金城隆一さん(青少年自立援助センターちゅうらゆい)	7(0)
合計			113(62)

◆外国人のためのセミナー／一日相談会／交流事業

相談事業に寄せられる相談から課題を抽出し、その内容を取り上げるセミナーを行い、広く情報提供を図った。また、課題対応として、豊中市等と協働で一日相談会を開催したほか、外国人同士が交流できる機会を創出した。

実施日	テーマ	講師等	参加者数（人） （うち外国人）
4月15日 ～16日	フィリピンシングルマザー親子 キャンプ@わっばる	※コーディネーター中心に活動	8 (6)
5月6日	ネパールコミュニティ交流会	※多言語スタッフ中心に活動	13 (13)
7月29日	ネパールコミュニティ交流会	※多言語スタッフ中心に活動	22 (22)
9月1日	外国人のための入園準備説明会 @センター	※子育て支援センターほっぺ協力	22 (17)
9月8日	中国コミュニティ交流会	※多言語スタッフ中心に活動	20 (20)
9月9日	韓国秋夕交流会	※多言語スタッフ中心に活動	20 (20)
9月9日	臨時相談会@庄内	協力：豊中市民公益活動支援センター	12 (12)
9月17日	ネパールの女性のお祭り TEEJ	協力：豊中市保健所、DIP RASNA、SARTAJ	80 (78)
10月14日	外国人のためのサッカー交流会 @マリノフド豊中マルチグラ ウンド	ゲスト：本田泰人さん、岡野雅行さん（元 サッカー日本代表）	40 (18)
10月17日	外国人のための入園準備説明会 @庄内コラボセンター	※子育て支援センターほっぺ協力	14 (8)
11月18日	外国人のためのサッカー交流会 @轟木公園	※コーディネーター中心に活動	11 (10)
合計			262 (224)

◆同行支援

機関連携により相談対応を行う際、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数（回）	同行先	回数（回）
豊中市関係施設	18	年金事務所	2
大阪府教育庁	3	家庭訪問	4
府立高校	1	その他	5
合計			33

◆豊中市社会福祉協議会との連携

実施日	内容
4月1日 ※前年度より継続	日赤豊中市地区事務局（豊中市社会福祉協議会内）「ウクライナ人道危機救援金」募金への協力
8月4日	地域共生推進プロジェクト実行委員会への参加
9月4日	地域福祉活動計画推進委員会への参加
10月5日	地域共生推進プロジェクト実行委員会への参加
11月15日	小地域福祉ネットワーク・地域共生推進プロジェクト実行委員会への参加
11月22日	地域福祉活動計画推進委員会への参加
12月4日	地域共生推進フォーラムへの参加（パネルディスカッションへの登壇）
12月8日	フットサル交流会への参加
2月28日	地域福祉活動計画推進委員会への参加
3月27日	地域共生推進プロジェクト実行委員会への参加

※ 上記以外に随時、連携して個別ケース対応や、通訳派遣を実施。また、生活困窮者向けの食糧品配布など実施。

地域福祉ネットワーク会議への参加

実施日	内容	実施日	内容
7月 13日	南部	2月 9日	北東部
7月 20日	中東部	2月 13日	北中部
7月 21日	中部	2月 22日	中西部
7月 22日	北東部	2月 27日	南部
7月 29日	北西部		

地域福祉ネットワーク会議（子ども部会）への参加

実施日	内容
5月 16日	豊島西小学校区
6月 6日	東丘・北丘小学校区
6月 7日	庄内・野田小学校区
6月 13日	刀根山小学校区
6月 20日	豊島小学校区
6月 21日	克明小学校区

◆リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の運営

協議離婚制度の手続きの簡便さを背景に、日本人配偶者である夫から勝手に離婚届を出されるという相談ケースが続いたことを踏まえ、関西の外国人支援団体、法学者、弁護士と共に「協議離婚問題研究会（リコン・アラート）」というネットワークを2014年度に立ち上げ、調査や啓発活動を行ってきている（協会が代表事務所）。

2017年度に研究会のウェブサイト及びFacebook ページ（12言語）を立ち上げ、同年に作成した啓発動画&パンフレットを掲載しているが、2023年度も引き続き周知広報活動を行い、相談対応を行った。また、9月にはシンポジウムを開催、2月には大阪弁護士会と共催で一日離婚電話相談会を開催した。

実施日	内容	参加者数（人） （うち外国人）
9月24日（日） 13:00～16:00	協議離婚制度のあり方について考えるシンポジウム 「共同親権をめぐる議論と協議離婚制度～国際結婚家族の無断離婚問題を通して」 ・「協議離婚の法制度と家族法制部会の議論」 二宮周平さん（立命館大学法学部 教授） ・「DVによる無断離婚と親権」 張 善花さん（京都YWCA・APT） ・「国際離婚における親権の実際」 芝池俊輝さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク世話人） ・「無断離婚と親権変更裁判ケース」 松本康之（協会理事長、弁護士） ・「無断離婚問題改善のための省庁交渉」 藤本伸樹さん（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター）	150(20)
2月17日（土） 10:30～16:30	外国人のための一日離婚電話相談会（相談件数35件） 主催：大阪弁護士会 共催：リコン・アラート	49(14)
合 計		199(34)

[リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん（立命館大学）、大谷美紀子さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク）、芝池俊輝さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク）、外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク（RINK）、NGO神戸外国人救援ネット、いくの学園、京都YWCA・APT、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）、公益財団法人箕面市国際交流協会、カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）

URL：<http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語（9 言語）で情報提供している。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委託事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご交流活動「もっとももっとつかえるにほんご」の立ち上げ・初期の運営及び外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催してきた。

2023 年度も引き続き就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力試験に向けたパーソナルサポートを行った。試験日の 3 か月前から毎週火曜日（状況によっては他の曜日も対応）に 1 回 2 時間のサポートを全て対面で実施した。

	期間	内容	回数	時間数	登録者数
前期	4～6月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	18回	121.5時間	9（うち外国人5、ボランティア4）
後期	9～11月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	14回	37時間	4（うち外国人2、ボランティア2）
		合計	32回	158.5時間	13（うち外国人7、ボランティア6）

VI. 施設管理運営

◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数（人）	37,168	[前年度比 26,788 増]
全利用者のうち外国人の利用者数（人）	16,091	[前年度比 12,146 増]
年間貸室件数（件）	6,926	[前年度比 5,513 増]
国際交流目的での貸室件数（件）	6,222	[全貸室における比率 89.8%]

◆2023年度(2023年4月～2024年3月) 月別・部屋別 使用件数・利用人数

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務（豊中市からの受託）の施設貸出業務について

① 2023年度（2023年4月～2024年3月）月別 使用件数・使用率

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	517	2,395	959
5月	27	539	2,360	1,079
6月	26	578	2,929	1,378
7月	27	562	2,637	1,094
8月	26	477	1,724	699
9月	26	648	3,697	1,842
10月	27	663	3,668	1,787
11月	25	636	3,303	1,529
12月	24	578	4,742	1,792
1月	24	557	3,064	1,206
2月	25	591	3,336	1,368
3月	27	580	3,313	1,358
合計	310	6,926	37,168	16,091

◆2023年度(2023年4月～2024年3月)

月別・部屋別 使用件数・使用率

(単位 上段：件、下段：%)

2023年度(2023年4月～2024年3月) 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	42	46	51	46	40	47	38	42	42	41	41	47	523
	使用率	53.8%	56.8%	65.4%	56.8%	51.3%	60.3%	46.9%	56.0%	58.3	56.9%	54.7%	58.0%	56.2%
会議室2A	件数	36	37	41	32	28	45	41	35	33	38	40	44	450
	使用率	46.2%	45.7%	52.6%	39.5%	35.9%	57.7%	50.6%	46.7%	45.8	52.8%	53.3%	54.3%	48.4%
会議室2B	件数	36	33	38	32	24	47	38	32	30	34	35	39	418
	使用率	46.2%	40.7%	48.7%	39.5%	30.8%	60.3%	46.9%	42.7%	41.7	47.2%	46.7%	48.1%	44.9%
会議室2C	件数	37	31	38	35	29	48	42	38	32	35	39	8	412
	使用率	47.4%	38.3%	48.7%	43.2%	37.2%	61.5%	51.9%	50.7%	44.4	48.6%	52.0%	53.3%	47.7%
会議室3	件数	49	47	57	44	25	44	47	45	40	43	47	42	530
	使用率	62.8%	58.0%	73.1%	54.3%	32.1%	56.4%	58.0%	60.0%	55.6	59.7%	62.7%	51.9%	57.0%
会議室4	件数	61	59	65	52	46	66	67	60	54	53	58	59	700
	使用率	78.2%	72.8%	83.3%	64.2%	59.0%	84.6%	82.7%	80.0%	75.0	73.6%	77.3%	72.8%	75.3%
会議室5	件数	41	37	42	40	32	39	48	46	41	35	43	42	486
	使用率	52.6%	45.7%	53.8%	49.4%	41.0%	50.0%	59.3%	61.3%	56.9	48.6%	57.3%	51.9%	52.3%
料理室	件数	21	26	28	15	13	35	36	28	22	18	25	22	289
	使用率	26.9%	32.1%	35.9%	18.5%	16.7%	44.9%	44.4%	37.3%	30.6	25.0%	33.3%	27.2%	31.1%
音健ルーム	件数	17	18	18	18	22	31	23	46	31	22	25	33	304
	使用率	21.8%	22.2%	23.1%	22.2%	28.2%	39.7%	28.4%	61.3%	43.1	30.6%	33.3%	40.7%	32.7%
和室	件数	0	1	9	4	4	4	10	8	12	3	4	5	64
	使用率	0.0%	1.2%	11.5%	4.9%	5.1%	5.1%	12.3%	10.7%	16.7	4.2%	5.3%	6.2%	6.9%
ブレイルーム1	件数	11	14	14	12	8	15	16	21	18	9	18	15	171
	使用率	14.1%	17.3%	17.9%	14.8%	10.3%	19.2%	19.8%	28.0%	25.0	12.5%	24.0%	18.5%	18.4%
ブレイルーム2A	件数	6	15	11	17	14	16	31	29	21	27	17	12	216
	使用率	7.7%	18.5%	14.1%	21.0%	17.9%	20.5%	38.3%	38.7%	29.2	37.5%	22.7%	14.8%	23.2%
ブレイルーム2B	件数	4	13	10	16	12	14	30	27	20	26	15	10	197
	使用率	5.1%	16.0%	12.8%	19.8%	15.4%	17.9%	37.0%	36.0%	27.8	36.1%	20.0%	12.3%	21.2%
ギャラリー1	件数	78	81	78	81	78	78	81	75	72	72	75	81	930
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー	件数	78	81	78	81	78	78	81	75	72	72	75	81	930
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
CCスペース	件数	-	-	-	37	24	41	34	29	38.0	29	34	40	306
	使用率	-	-	-	45.7%	30.8%	52.6%	42.0%	38.7%	52.8	40.3%	45.3%	49.4%	44.2%
総件数		517	539	578	562	477	648	663	636	578	557	591	580	6926
開館日数		26	27	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	310
使用率		41.4%	41.6%	46.3%	43.4%	38.2%	51.9%	51.2%	53.0%	50.2%	48.4%	49.3%	44.8%	46.5%
会議室2C →3/7～4/17パーティー故障のため使用不可のため、開館5日間で計算														

※ なお、市民の声を受け、2023年7月からCCスペースを貸室として稼働を始めている。

◆2023年度(2023年4月～2024年3月)

国際交流目的 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段：件、下段：%)

2023度(2023年4月～2024年3月) 国際交流目的 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	40	46	49	46	38	46	35	36	40	38	37	44	495
	使用率	51.3	56.8	62.8	56.8	48.7	59.0	43.2	48.0	55.6	52.8%	49.3%	54.3%	53.2%
会議室2A	件数	35	35	40	29	28	41	34	33	31	33	38	37	414
	使用率	44.9	43.2	51.3	35.8	35.9	52.6	42.0	44.0	43.1	45.8%	50.7%	45.7%	44.5%
会議室2B	件数	35	32	37	29	24	46	31	31	29	25	33	35	387
	使用率	44.9	39.5	47.4	35.8	30.8	59.0	38.3	41.3	40.3	34.7%	44.0%	43.2%	41.6%
会議室2C	件数	35	28	35	32	27	44	34	35	28	26	35	7	366
	使用率	44.9	34.6	44.9	39.5	34.6	56.4	42.0	46.7	38.9	36.1%	46.7%	46.7%	39.4%
会議室3	件数	49	47	57	43	25	43	46	44	39	43	47	40	523
	使用率	62.8	58.0	73.1	53.1	32.1	55.1	56.8	58.7	54.2	59.7%	62.7%	49.4%	56.2%
会議室4	件数	61	59	65	52	46	66	67	59	54	53	58	59	699
	使用率	78.2	72.8	83.3	64.2	59.0	84.6	82.7	78.7	75.0	73.6%	77.3%	72.8%	75.2%
会議室5	件数	40	37	41	40	31	35	45	41	38	33	38	38	457
	使用率	51.3	45.7	52.6	49.4	39.7	44.9	55.6	54.7	52.8	45.8%	50.7%	46.9%	49.1%
料理室	件数	17	25	27	13	11	33	34	25	21	15	22	19	262
	使用率	21.8	30.9	34.6	16.0	14.1	42.3	42.0	33.3	29.2	20.8%	29.3%	23.5%	28.2%
音健ルーム	件数	11	9	10	9	10	19	12	39	19	15	16	22	191
	使用率	14.1	11.1	12.8	11.1	12.8	24.4	14.8	52.0	26.4	20.8%	21.3%	27.2%	20.5%
和室	件数	0	1	6	1	3	2	8	5	10	1	3	2	42
	使用率	0.0	1.2	7.7	1.2	3.8	2.6	9.9	6.7	13.9	1.4%	4.0%	2.5%	4.5%
プレイルーム1	件数	11	14	13	12	8	15	16	17	16	9	18	14	163
	使用率	14.1	17.3	16.7	14.8	10.3	19.2	19.8	22.7	22.2	12.5%	24.0%	17.3%	17.5%
プレイルーム2A	件数	1	5	3	3	0	4	1	5	6	2	0	0	30
	使用率	1.3	6.2	3.8	3.7	0.0	5.1	1.2	6.7	8.3	2.8%	0.0%	0.0%	3.2%
プレイルーム2B	件数	1	5	3	3	0	4	1	5	6	2	0	0	30
	使用率	1.3	6.2	3.8	3.7	0.0	5.1	1.2	6.7	8.3	2.8%	0.0%	0.0%	3.2%
ギャラリー1	件数	78	81	78	81	78	78	81	75	72	72	75	81	930
	使用率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー2	件数	78	81	78	81	78	78	81	75	72	72	75	81	930
	使用率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
CCスペース	件数	-	-	-	37.0	24.0	39.0	34.0	29.0	38.0	28	34	40	303
	使用率	-	-	-	45.7	30.8	50.0	42.0	38.7	52.8	38.9%	45.3%	49.4%	32.6%
総件数		492	505	542	511	431	593	560	554	519	467	529	519	6222
開館日数		26	27	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	310
使用率		44.2%	41.6%	46.3%	39.4%	34.5%	47.5%	43.2%	46.2%	45.1%	40.5%	44.1%	40.0%	51.5%
会議室2C→3/7～4/17パーティーション故障のため使用不可のため、開館5日間で計算														

◆使用料の収入の状況：とよなか国際交流センター使用料

(令和5年(2023年)4月～令和6年(2024年)3月納付分)

計 1,395,550円

◆2023年度（2023年4月～2024年3月）安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーティションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無	無	無	無	
5月	無	無	無	無	
6月	無	無	無	無	
7月	無	無	無	無	
8月	無	無	無	無	
9月	無	無	無	無	
10月	無	無	無	無	
11月	無	無	無	無	
12月	無	無	無	無	
1月	無	無	無	無	
2月	無	有	無	無	2月27日(火)午後0時10分ごろ会議室 2BC の間のパーティション移動の際、職員が動かなかったパーティションの天井側のコマを覗こうとして上っていた机から落下。右手首骨折及び右足首捻挫。
3月	無	無	無	無	

(2) 視察、学生受入れ等

◆視察受入れ

	日時	受入れ	参加者数(人) (うち外国人)
1	6月 2日	ヒューマンライツウォッチ	2 (1)
2	6月 29日、7月 22日	大阪大学大学院人文学研究科	3 (0)
3	7月 7日	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	40 (0)
4	7月 31日	刀根山高校	3 (0)
5	8月 2日	文京学院大学 登丸あすかゼミ	10 (0)
6	8月 31日	大阪府国際交流財団 (OFIX)	4 (0)
7	9月 24日	大阪府立豊中高等学校	4 (0)
8	10月 31日	豊中市立克明小学校6年生	6 (0)
9	11月 11日、11月 23日、 11月 24日	ヒューマンライツウォッチ	1 (1)
10	11月 17日	移住労働者と連帯する全国ネットワーク	2 (0)
11	12月 8日	大阪大学人間科学部生涯教育学研究室	16 (0)
12	12月 26日	川西市 (市民団体の方、市議会議員)	2 (0)
13	1月 18日	甲賀市役所	13 (0)
14	1月 19日	八代町役場地域おこし協力隊員	1 (0)
15	1月 26日	レガートおおた	1 (0)
16	2月 11日	大阪商業大学 (教員)、信州大学 (教員)	2 (1)
17	2月 13日	豊中市立蛭池小学校	65 (0)
18	3月 8日	個人	1 (0)
合 計			176 (3)

◆学生受入れ（インターン）

2023年度は、2校よりインターンの希望があり、2名のインターンを受入れた。

学校名	受入数（人）（うち外国人）	実習時間
甲南女子大学	1（0）	40時間
大阪大学人間科学部	1（0）	80時間
合 計	2（0）	120時間

◆職場体験学習 OJL（カル）

2023年度は2校より職場体験の希望があり、6名の生徒を受け入れた

学校名	受け入れ期間	受入数（人）（うち外国人）
豊中市立第四中学校	10月24日、10月26日	3（2）
豊中市立第十二中学校	11月13日、11月14日	3（0）
合 計		6（2）

◆ATOMS ふりかえり会（事業評価会）

各事業の取組の振り返りと共有を通して、各事業が何をを目指すのか、事業同士をどうやって有機的につなげていくのか、協会職員だけでなく、事業に関わる市民とともに1998年から実施している（参加者42人）。

日 時	内 容	場 所	参加者（うち外国人）
3月2日（土） 10:00～12:00	協会の全事業について、グループワーク形式で参加者や担当職員が振り返った内容について共有し、意見交流を行った。なお、振り返りの視点（以下の4つ）は全事業共通。 ①双方向性 ②ボトムアップ ③居場所 ④エンパワメント	センター	42（12）
合 計			42（12）

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議（21団体）

克明小学校区連絡会	大池小学校区連絡会	豊中市子ども若者自立支援部会
とよなか市民環境会議	識字・日本語豊中連絡会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	豊中こどもの居場所ネットワーク	豊中市子ども・若者支援協議会
豊中市国際教育推進連絡会	豊中市子ども施策推進本部連絡会議	豊中市子ども相談支援ネットワーク会議
豊中市防災会議	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市外国人市民会議	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市犯罪被害者等相談支援ネットワーク会議	豊中市地域福祉活動計画推進委員会	豊中市障害者差別解消支援地域協議会
豊中市民生委員推薦会	豊中市多機関連携支援会議	

その他（19団体）（順不同）

（社福）みとい福祉会	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中南ライオンズクラブ	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
多文化社会専門職機構	ダイバーシティ研究所	大阪弁護士会
「ひと・まち・であい 夏まつり」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか（TIIFA）
豊中南ロータリークラブ	近畿税理士会	大阪出入国在留管理局
大阪府教育庁		

◆訪問等による情報収集・意見交換

文部科学省高等教育局学生支援課	文部科学省総合教育政策局国際教育課	文部科学省大臣官房国際課
文化庁文化国際課	厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課	出入国在留管理庁政策課在留企画室
自治体国際化協会	大阪府人権局	大阪府住宅課

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加（もしくは主催）した。（協会主催の研修会は㊦印で太字／自己啓発支援については㊧印で太字）34回

実施日	内容（主催）
5月14日	体感型ワークショップ「被抑圧者の演劇で考える脳の多様性」
6月8日、6月9日	㊦防災士研修講座（防災士研修センター）
6月24日	トルコ地震から学ぶ災害時の外国人支援（京都市国際交流協会）
7月1日、7月2日、 8月5日、8月13日	アンガーマネジメント入門講座（日本アンガーマネジメント協会）
7月11日	行政における文書事務について（国際交流協会ネットワークおおさか）
7月13日	経営者のための「チームマネジメント」基礎講座（大阪産業局）
7月26日	子どものための心理的応急処置講座いつでも・誰でもできる、緊急下のこころのケア（豊中市）
7月26日	多民族共生人権研究集会（多民族共生人権研究集会実行委員会）
7月31日	アンガーマネジメント研修応用編（日本アンガーマネジメント協会）
8月1日	2023年度人権文化まちづくり講座（とよなか人権まちづくり協会）
8月4日	豊中市幼保こ小連絡協議会（豊中市）
8月7日、8月24日	改定入管法の施行に向けて何が起きる？支援者にできることは？（移住者と連帯する全国ネットワーク）
8月9日、8月30日	差別を深掘りする（ヒューライツ大阪）
8月15日	TIサポーター講座／TIコーディネーター養成講座（TICC）
8月18日	「生きることばを紡ぐ」未来共生セミナーいくのふらっとだいがく（大阪大学未来共創センター）
8月22日	「ほめ達！」入門編（日本ほめる達人協会）
9月8日	㊦マイクロアグレッション研修（内山唯日さん：Bridge Project）
9月10日	外国人児童生徒教育研修第2回中学生年齢の子どもの多様性を捉え・育み・つなぐ（東京学芸大学）
10月7日	性の多様性から「じぶん」について考える（とよなか男女共同参画推進センター）
10月30日	心のサポーター養成講座（豊中市保健所）
12月8日	ウトロの歴史に学ぶ平和と人権～「差別」を乗り越えた小さな統一の力（世界人権宣言豊中会議）
12月15日	ヤングケアラーと家族をささえるために（豊中市子ども未来部）
12月26日	市民活動団体のためのボランティアコーディネーション入門講座（市民ネットすいた）
1月13日	SIFA 多文化共生講座 私が安心する“トコロ”～場所が居場所になる過程（吹田市国際交流協会）
1月22日	㊦大学生の心理的サポートシステムと大学教育としての学生支援（立命館大学）
1月29日	㊦ボランティアのためのハラスメント研修会（ヨコタ ジェリーさん：大阪大学名誉教授）
1月30日～2月1日	㊦先進地域視察研修（珊瑚舎スクーレ、沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい、沖縄NGOセンター、若狭公民館）
3月21日	㊦個別スーパービジョン（自由が丘カウンセリングオフィス）

◆館内ワールドクイズ「シン・ワールドクイズ」

施設壁面を活用した取組。館内随所にクイズ（各国の文化等に関する問題、全15問）を掲示している。

事務所で回答用紙を受け取ってクイズラリー形式で回答を全て集めると、オリジナルポストカードを1枚プレゼントする企画として常設している。

豊中市に暮らす外国人の数が多く国から順にクイズで取り上げており、楽しみながら豊中市で暮らす外国人のことを知ったり、様々な館内掲示物に触れたりすることで国際交流、多文化共生に関する理解が深まるように取り組んでいる。

◆子ども服のリサイクルコーナー

地域における子育て支援の一環として、事務所前に子ども服・用品のリサイクルコーナーを常時設置している。不要になった子ども服を持参して自ら陳列してもらい、必要な人は無料で持ち帰ることができるコーナーとして、市民、施設利用者から好評を得ている。

自主事業 実績詳細

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 持続可能な地域づくり事業

(1) メディア・リテラシー市民ゼミナール

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数 (人) (うち外国人)
2月23日	メディア・リテラシー講座 ～こどもとメディア～	田島知之さん (京都府立大学)、登丸あすかさん (文京学院大学)	センター	16(7)
合計				16(7)

市民ゼミナール・メディア・リテラシーでは、[1] 参加者同士の「対話の文化」を作ること、[2] 参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、[3] マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することを通して、「多様な人々が尊重される地域づくり」を推進することを目指している。

子ども事業のボランティアから、子どもが居場所の中でスマホやタブレットでゲームをしたり、動画を見ていることが増えていて不安だという声が出てきたことから、2023年度は「子どもとメディア」をテーマに、子ども事業に関わるボランティア向けのメディア・リテラシーの講座を開催した。

(2) 持続可能な開発のための教育 (ESD) ・防災・地域貢献

国際連合が提唱し、2005年から始まった「持続可能な開発のための教育 (ESD) の10年」を受け、ESD とよなかは2005年2月にキックオフを行った。豊中市と市民活動中間支援団体 (6団体) が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。その活動内容を踏まえ、2015年にESD とよなか連絡会議をスタートさせ、現在も関係団体で協働して継続的に活動を行っている。

2023年度は各構成団体のコロナ禍以降の取組状況の情報共有のほか、ESD とよなか連絡会議の進め方について意見交換を行い、今後の進め方について認識のすり合わせを図った。

◆ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
7月7日	10 (2)	市民公益活動支援センター	各団体の取組の紹介、情報交換、意見交換
10月31日	9 (3)	市民公益活動支援センター	各団体の取組の紹介、情報交換、意見交換
3月15日	10 (3)	市民公益活動支援センター	各団体の取組の紹介、情報交換、意見交換及び次年度の活動計画についての検討
合計	29 (8)		

[構成団体&機関名]

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人とよなか国際交流協会、NPO 法人とよなかESD ネットワーク、豊中市 [市民協働部人権政策課、環境部ゼロカーボンシティ推進課、市民協働部地域連携課、教育委員会事務局社会教育課]

◆国際理解教育などの講師の派遣など

全部で43件、72人 (11か国・地域) を派遣した。内容も講師の出身国・地域や地域の生活・文化・言葉の紹介のほか、協会の事業の紹介、豊中市の多文化共生に関する取組や制度の現状、外国人の状況など多様であり、対象も学校や、市役所職員や一般向けセミナーなど幅広く対応した。また、2023年度も依頼先により、オンライン (Zoom) による対応も行った。

	実施日	派遣先、内容	講師 (ルーツを記載)	講師の人数 (人)
1	4月19日	かめのり財団@Zoom (日本における外国人と福祉について)	日本 (職員)	1
2	4月29日	ひょうご日本語教師連絡会@兵庫県国際交流協会 (多文化共生と地域の日本語教育のあり方)	日本 (職員)	1
3	6月17日	豊中市教育センター (多文化共生)	日本 (職員)	1
4	6月19日	豊中市 (外国人市民会議選考委員)	日本 (職員)	1
5	7月12日	大阪府人権協会 (地域における多文化共生)	日本 (職員)	1
6	7月18日	関西大学北陽高等学校 (人権講演 (2年生))	エクアドル	1
7	7月20日、 9月5日	大阪市民民局	日本 (職員)	1
8	7月28日、 8月2日	大阪総合保育大学 (外国にルーツを持つ子どもや保護者への理解)	日本 (職員)	1
9	8月17日	豊中市教育センター (人権尊重の社会を支える活動に学ぶ)	日本 (職員)	1
10	8月25日	大阪府在日外国人教育研究協議会@阿倍野区市民センター (第2回府外教セミナー「フィリピンとのつながりを財産に」)	フィリピン	1
11	8月26日	三田市国際交流協会 (協会の取組について)	日本 (職員)	1
12	8月30日、 10月4日、 12月6日	兵庫県国際交流協会 (地域日本語教育コーディネーター)	日本 (職員)	1
13	9月6日	西丘小学校 (1年生 外国について知ろう～世界の遊び～)	タイ	1
14	9月6日	豊中市立小中学校教育研究会「多文化共生と在日朝鮮人教育研究会」(豊中市の外国人の状況や動向、児童や保護者について)	日本、日本 (職員)	2
15	9月14日	NPO 法人クロスベイス@多文化ふらっと (相談事業の運営について)	日本 (職員)	1
16	9月20日	丹波篠山市 (多文化共生指針の策定委員会)	日本 (職員)	1
17	9月29日	第3回多民族共生人権啓発セミナー@HRC ビル (多民族共生人権教育センター) (多文化共生について)	フィリピン	1
18	9月30日	京都府国際センター@ガレリアかめおか (就学前の外国にルーツを持つ子どもの学びについて)	日本 (職員)	1
19	9月30日	日本国際教育学会@関西大学 (人権教育研修「多文化共生の取り組みに学ぶ」)	日本 (職員)	1
20	10月1日	庄内コラボセンター (料理を通じた婚活)	韓国	1
21	10月7日	アムネスティ日本支部北摂グループ@庄内コラボセンター (多文化共生について)	日本 (職員)	1
22	10月16日	大阪府立福井高等学校 (1年生 多文化共生)	日本 (職員)、スリランカ (職員)	1
23	11月1日	豊中市立小中学校教育研究会「給食研究会」@走井給食センター	ブラジル	1
24	11月2日	豊中市立第一中学校 (国際理解)	韓国、中国、タイ、インドネシア、フィリピン	5
25	11月14日	豊中市立野畑小学校 (韓国についてしろう)	韓国	1
26	11月16日	豊中市立第五中学校 (人権総合学習としての国際理解)	中国、韓国、タイ、インドネシア	4
27	11月23日	全国社会福祉協議会 (社会福祉協議会との協働、協会の取組)	日本 (職員)	1
28	11月29日	大阪総合保育大学 (外国にルーツを持つ子どもへの支援)	日本 (職員)	1
29	11月30日	大阪府立池田高等学校 (多文化共生講演会)	中国、韓国、タイ、インドネシア、エクアドル	9
30	12月5日、 12月19日	三重県人権教育研究協議会@名張市、津市、鈴鹿市 (多文化共生保育)	日本 (職員)	1
31	12月13日	大阪府北部コミュニティカレッジ@千里中央予定 (お国の歴史や文化、芸術や生活習慣など①)	エクアドル	1
32	1月16日	豊中市立第九中学校 (国際理解)	タイ、インドネシア、韓国、中国	9
33	1月17日	豊中市立小中学校教育研究会「多文化共生と在日朝鮮人教育研究会」@克明小学校 (外国人保護者の声)	日本、ネパール、中国	3
34	1月24日	大阪府北部コミュニティカレッジ@千里中央予定 (お国の歴史)	ブラジル	1

		や文化、芸術や生活習慣など②)		
35	2月8日	池田市立北豊島中学校(多文化共生)	中国	1
36	2月14日	大阪府北部コミュニティカレッジ@豊中本町(お国の歴史や文化、芸術や生活習慣など②)	ベトナム	1
37	2月17日	多文化ふらっと@いくのパーク(多文化共生)	日本(職員)	1
38	2月23日	きょうと多文化支援ネットワーク@京都市国際交流センター(外国につながる子をもつ保護者への支援について)	日本(職員)	1
39	2月24日	神戸外国人定住支援センター@ふたば学舎(多文化共生フォーラム)	日本(職員)、フィリピン	3
40	2月29日	豊中市立東豊台小学校(多文化共生と中国の文化について)	日本(職員)、中国	2
41	3月8日	関西大学北陽高等学校(後期人権教育講演)	スリランカ(職員)	1
42	3月12日	豊中市立第四中学校夜間学級(在留資格と労働法)	日本(職員)	2
43	通年	大阪府立豊中支援学校	ブラジル	1
			合計	73

◆多文化共生の推進などに関する委員の派遣等

協会の取組や実績に関連して、豊中市以外の機関・団体等から委員会への参加を依頼された。

実施日	内容	のべ参加者数(人)
2月9日	大阪府外国人施策有識者会議 [委員] ・大阪府在日外国人施策の実施状況(令和5年度)について	1(0)
1月12日、2月22日	一般社団法人多文化専門職機構 [評価委員] ・令和5年度地域日本語教育コーディネーター研修・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進のためのコーディネーター研修(文化庁委託事業)	1(0)
7月25日、12月11日、3月18日	一般財団法人ダイバーシティ研究所 [運営委員] ・令和5年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(文化庁委託事業)	1(0)
合計		3(0)

◆マイクロアグレッション啓発パンフレット作成

2023年度は、職員や多言語スタッフのマイクロアグレッションに対する共通認識を高めるとともに、協会事業の活動に関わるボランティアが自身の無自覚な偏見や思い込みに気づき、マイクロアグレッションを含む差別的な言動の回避や、第三者としての介入を促すための媒体(ツール)制作に向けて、参加者を集め、月1~2回のミーティングを行った。2024年9月の完成を目途に、引き続き会議の場を持ち、制作を進めていく。その後、協会が多様な外国ルーツをもつ人々にとって、安心・安全な場になることをめざし、パンフレットを用いたセミナーや研修の開催を考えている。

実施日	内容	場所	のべ参加者数(人)
1月23日、2月13日、2月26日、3月12日	マイクロアグレッションのパンフレット作成について	センター	30
合計			30

<その他> らいとびあ21にて開催されたマイクロアグレッションのセミナーに参加した。

実施日	内容	参加者数(人)
3月15日	「マイクロアグレッションってなあに?~共に生きるために、向き合い方を考える」	3(1)
合計		3(1)

◆ネパール開発教育教材作成プロジェクト

ネパール人児童生徒が在籍する学校が市内でも増加しており、センターの相談事業にも文化の違いなどを背景とした学校でのトラブルなどの相談が増えている。そのような状況を踏まえ、学校でネパール理解を進めるための開発教育の教材開発を行う(2か年計画、2024年度完成予定)。

実施日	テーマ	講師	場所	のべ参加者数 (人) (うち外国人)
11月 2日 12月 14日 2月 22日 3月 21日	教材開発	佐藤友紀さん（開発教育協会副代表理事、元教員）、西上寿一さん（関西セミナーハウス開発教育研究会、元教員）、丸山まり子さん（関西セミナーハウス開発教育研究会、元教員）	センター	のべ 21(1)
合 計				21(1)

◆その他

●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月 11 日の買い物時に発行される黄色いレシートを地域の応援したい団体の投函 BOX へ入れると、買い上げ金額合計の 1%分の品物が寄贈されるキャンペーン。協会は「ダイエー曾根店」にて参加している。

期間	金額	寄贈品
2023 年上期・下期 (2023. 4~2024. 3)	15,678 円	湯沸かしポット、茶葉

2. 周縁化される外国人のための総合的な仕組み事業

・多文化子どもエンパワメント事業

(1) 学習日本語「こんぱす」

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、協会・とよなかJSL・豊中市の三者の協働事業「とよなか子ども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステムづくりのための事業（「こどもにほんごプロジェクト）」が3か年計画として始まった。2017年度をもって日本語教室の運営を取りやめることになったが、2019年度に教案集出版を記念したシンポジウムを開催したことを契機に、2020年度より新たな子どもの日本語教室となる学習日本語「こんぱす」を立ち上げた（運営主体：とよなかJSL 協力：協会）。

昨年度に引き続き、対面での活動を継続して実施することができた。来日して日が浅い子どもや日本育ちの子ども、初級の日本語は修了したがもう少し日本語を学びたい子どもなど多様な子どものニーズに応じた指導を行った。昨年度末に引き続き、高校受験を控えた中学生のために土曜日に教科指導を実施した。また、日本語について気になる子どもの保護者や教員からの教育相談を実施しており、必要に応じて「こんぱす」通級につなげたり、学校や自宅での支援についてのアドバイスを行ったりした。

11月に実施した「ボランティア募集説明会」では、地域市民で「こんぱす」での子どもの学習日本語指導に興味のある方を対象に活動や指導内容について紹介し、説明会終了後には見学会を開催した。説明会参加後にボランティアとしての活動を希望した参加者について、随時育成を行っている。

<定例>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人） （うち外国人）
火曜日・金曜日	17:00～19:00	89回	1,127（567） （うち子ども567人）
合 計			1,127（567） （うち子ども567人）

<教科指導>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人） （うち外国人）
土曜日	14:00～16:30	28回	140（56） （うち子ども56人）
合 計			140（56） （うち子ども56人）

<教育相談>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人） （うち外国人）
火曜日・金曜日	16:00～17:00	10件	55（25）
合 計			55（25）

<ボランティア募集研修会>

実施曜日	時間	講師	参加者数（人） （うち外国人）
11月17日	15:00～16:30	とよなかJSLメンバー 協会職員	14（0）
合 計			14（0）

(2) ネットワーク事業への参加

子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツがあるなど、マイノリティ性を持つ子ども・若者の支援に関わっている団体、個人で作られたネットワーク。2017年7月から活動を行い、定期的な情報交換、シンポジウムなどを実施している。

定期的な情報交換会の開催のほか、2023年度は在留資格「家族滞在」の子どもがJASSO（独立行政法人日本学生支援機構）の奨学金を受けられるように文部科学省への働きかけ、文部科学省の担当官を招いたセミナーなどを行った。

<定期的な情報交換>

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	構成団体		
4月 21日	7 (1)	ナレッジサロン&オンライン	【構成メンバー】 箕面市国際交流協会、とよなか国際交流協会、おおさかこども多文化センター、西淀川インターナショナルコミュニティ等		
5月 23日	6 (0)				
6月 13日	6 (1)				
8月 4日	9 (1)				
9月 15日	10 (3)				
10月 17日	13 (4)				
11月 14日	12 (3)				
12月 15日	14 (4)				
1月 12日	12 (3)				
2月 9日	10 (2)				
3月 8日	7 (1)				
3月 29日	7 (0)				
合 計	113 (23)				

<研修会、シンポジウム等>

実施日	参加者数 (人) (うち外国人)	開催場所	内容
9月 4日	26 (3)	センター	静岡県議会子どもの孤立対策特別委員会視察受入れ セミナー「文部科学省の担当官を招いて 外国につながる子どもの教育支援を途切れなく ～国、自治体、地域の連携を深めるために～」
2月 23日	75 (10)	センター	
合 計	101 (13)		

<訪問、意見交換等>

実施日	内 容	開催場所	参加者数 (人) (うち外国人)
11月 24日	文部科学省高等教育局学生支援課	文部科学省	3 (1)
11月 24日	文部科学省総合教育政策局国際教育課	文部科学省	3 (1)
11月 24日	文部科学省大臣官房国際課	文部科学省	3 (1)
11月 24日	国立社会保障・人口問題研究所国際部	国立社会保障・人口問題研究所	3 (1)
合 計			12 (4)

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進連絡会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3か年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より豊中市国際教育推進協議会を立ち上げ、2019年度からは連絡会として、継続的に情報交換・意見交換を行っている。2023年度は会議が2回開催され、教育委員会、小中学校、こども園、地域、それぞれの立場から情報共有・意見交換が実施された。

<豊中市国際教育推進連絡会への参加>

実施日	内 容	場 所	参加職員数(人)
9月15日	豊中市における国際教育の現状について	豊中市役所	1
2月20日	豊中市における国際教育の現状について	豊中市役所	1

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会が毎年センターにおいて多言語による進路相談会を開催している。対象生徒の増加により、2021年度、2022年度に引き続き、中学3年生及び2年生のみを対象としての開催となった。

<豊能ブロック協議会構成団体> 計23団体

大阪府教育庁	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市ダイバーシティセンター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

<豊能ブロック協議会への参加>

実施日	内 容	場 所	参加職員数(人)
6月19日	2023年度帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業 第1回豊能ブロック協議会	センター	1
7月4日	第2回豊能ブロック協議会	豊中市教育センター	1
9月21日	第3回豊能ブロック協議会	豊中市教育センター	2
11月14日	第4回豊能ブロック協議会	センター	2
合 計			6

<豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」>

実施日	時間	場所	参加者数(人)
10月8日(日)	13:00~16:00 (13:00~13:45 進路説明会 13:45~14:30 個別相談会)	すてっぷホール	115(21家族参加) (うち生徒21人、保護者23人、通訳者12人[8言語]、関係者59人)
合 計			115

◆多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、多文化フェスティバル（帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂に集い、つながり、交流を深める機会）を例年開催し、2023年度で19回目を迎えた（後援：豊中市教育委員会）。

2023年度は、2020年度より新型コロナの観点によって制限をしていた参加者について一部緩和し、「外国にルーツを持つ子どもおよびその友人」の参加までを呼びかけるものとして実施した。

当日は、例年実施している豊中市教育委員会や豊中市外国人教育推進協議会、協会などが実施する各活動（「子ども日本語教室」、「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」、「子ども母語教室」「学習支援・居場所づくり サンプレイス」など）の紹介、教育委員会主催の国際教室や子どもたちによる詩の朗読やダンス・民族楽器の発表などをステージで実施した。

今年度は、コロナ禍以前にも参加してもらっていた大阪府立東淀川高校の学生や、外国人保護者のブースも再開することができた。外国ルーツの若者にもゲストとしてブース出店をお願いし、子どもたちと多言語を含む言葉を音源にしてラップミュージックの制作・発表を行った。

また新たな取り組みとして、豊中市の子どもの居場所づくりネットワーク「いこっと」より講師派遣制度を利用し、バルーンアートや駄菓子屋さんの出張にも出店いただいた。子どもたちが、多様な国・地域・世代の人たちと遊びや発表を通じて交流し、関わりあう機会となった。

実施日	時間	場所	参加者数（人）（うち外国人）
12月16日（土）	10:30～12:30	とよなか男女共同参画推進センター ・すてっぷホール ・視聴覚室 センター ・CCスペース ・料理室 ・会議室4	148（104） [※なお、参加者全体のうち、企画の対象者である子どもは69。そのほか、保護者14、スタッフ11、関係者54]
合 計			148（104）

※参加団体

（豊中市教育委員会学校教育課人権教育係、豊中市在日外国人教育推進連絡会、豊中市こども日本語教室、韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、とよなか国際交流協会、子ども母語教室、学習支援「サンプレイス」、インターンシップ生（大阪大学大学院）、学生ボランティアいこっと登録ボランティア「駄菓子屋あいちゃん」「バルーンアート」、ゲスト：ライアンさん（多文化ふらっと 学習支援ボランティア）、東淀川高校、保護者「中国切り絵体験」「オーストラリアタッチ体験」）

2023(令和5)年度事業報告 附属明細書

2023(令和5)年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。